

# 1. 特集

## コロナ禍における観光旅行に対する意識・実態

今回も前回（第39回）に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大や、それに伴う各種割引キャンペーン・旅行商品が、人々の観光旅行に対する意識や行動にどのような影響を与えているのかを調査した。なお、「コロナ禍での思いの変化」や「コロナ禍の旅行での人との関わり」など、新規設問を追加し、前回よりも詳細な調査を実施した。また、今後1年の宿泊観光旅行に対する希望について、過去2回の結果や今年度の実績と比較し、コロナ禍における観光旅行に対する人々の意識を分析した。

### ◆結果のポイント◆

#### 1. 旅行に関する割引キャンペーンの利用状況

令和2年度の宿泊観光旅行では4割以上がGo Toトラベルキャンペーンを利用  
自治体が行っているキャンペーンの利用率は、居住地による差が大きい

#### 2. 割引キャンペーンの今後の利用予定・意向

Go Toトラベルキャンペーンの利用希望が3割以上  
令和2年度のキャンペーン利用者は、今後の利用予定・意向率も高い

#### 3. コロナ禍での観光旅行に対する思いの変化

コロナ禍で観光旅行に対する何らかの思いの変化があった人が約6割  
旅行好きな人において、旅行の重要性を感じたという回答が多い

#### 4. コロナ禍の旅行での人との関わり

旅行先では必要最低限の関わりに抑えたいという人が半数以上  
積極的な人との関わりを求める割合は10代において比較的高い

#### 5. コロナ禍の旅行で必要な情報および入手ルート

観光地や宿泊施設の混雑状況に関する情報を求めている人が多い  
公的なインターネットサイトから必要な情報を得る人が多く、若者はSNSも利用

#### 6. オンライン旅行体験への参加

令和2年度のオンライン旅行体験参加者は2.5%のみ  
国内のオンラインツアーへの参加者が多く、特に文化財見学が人気である

#### 7. ワークーションの実態と志向

ワークーションの体験者は1.4%と非常に限られた結果となっている  
勤め人／管理職では、比較的ワークーションへの参加希望率が高い

#### 8. 今後の宿泊観光旅行への希望

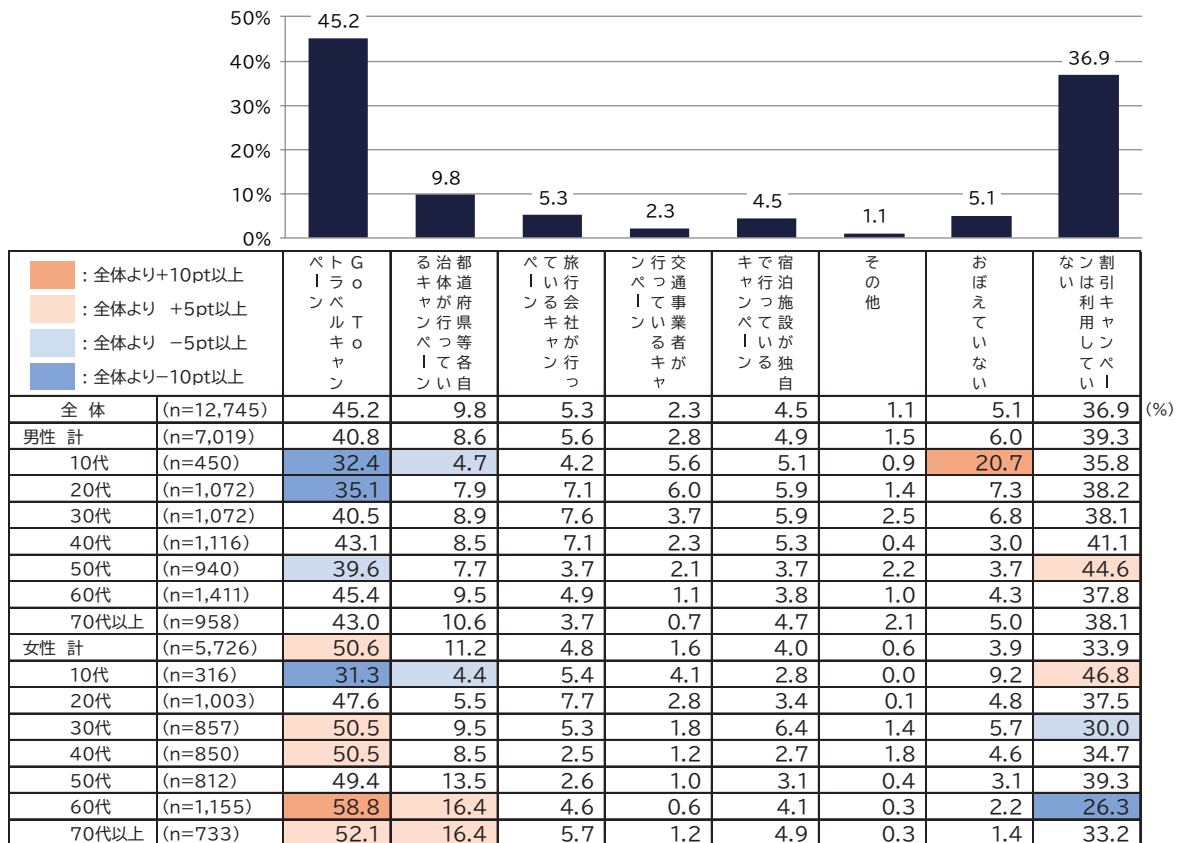
宿泊観光旅行の希望は縮小し、54.3%まで落ち込んでいる  
コロナ禍前と比較して、居住地域内への旅行希望が増加している

## 1. 旅行に関する割引キャンペーンの利用状況

令和2年度（令和2年4月～令和3年3月までの1年間）の国内宿泊観光旅行において、各種割引キャンペーンを利用したかどうか尋ねたところ、すべての宿泊観光旅行のうち45.2%が「Go To トラベルキャンペーン」を利用したものであるという結果となった。「Go To トラベルキャンペーン」の利用は特に女性で多く、50.6%となっている。一方、男性は40.8%で、特に20代以下で低い数値となっている。他のキャンペーンをみると、全体ではどれも1割に満たないが、「都道府県等各自自治体が行っているキャンペーン」については、女性の60代、70代以上ではともに16.4%と、他の性・年代に比べて割合が高い。

また、36.9%は割引キャンペーンの利用なく旅行をしており、特に男性50代（44.6%）と女性10代（46.8%）で多くなっている。

図表1-1:各種割引キャンペーンの利用状況



居住都道府県別にみると、山梨県（58.9%）や和歌山県（55.4%）では、「Go To トラベルキャンペーン」の利用率が高い。一方で、徳島県（23.1%）、福井県（27.1%）では利用率が3割に満たない結果となっている。また、「都道府県等各自自治体が行っているキャンペーン」については、居住地による差が大きく、利用率が最も高いのは、秋田県で52.8%、最も低いのは香川県で3.6%となっている。

図表1-2: 居住都道府県別 割引キャンペーンの利用状況

		パト G ーラ o ンベル T キョ キャン	る 治 都 キ 体 道 ヤ が 府 ン 行 県 パ っ 等 ー て 各 い 自	パ て 旅 ー 行 会 ン 行 社 キ が ヤ ン 行 っ	ン 行 交 パ っ 通 ー 事 ン 業 キ 者 ヤ が ヤ	キ で 宿 ヤ 行 泊 ン っ 施 パ ー 設 ー 設 が ン っ 独 自	そ の 他	お ぼ え て い な い	な ん 割 い は 引 キ ヤ ン パ ー ン の 利 用 状 況
		全体より+10pt以上							
		全体より +5pt以上							
		全体より -5pt以上							
		全体より-10pt以上							
全体	(n=12,745)	45.2	9.8	5.3	2.3	4.5	1.1	5.1	36.9
北海道	(n=560)	39.8	12.3	3.2	0.9	5.0	0.7	6.3	41.1
青森県	(n=91)	45.1	34.1	11.0	1.1	2.2	0.0	8.8	18.7
岩手県	(n=121)	43.8	40.5	10.7	2.5	0.8	0.0	2.5	29.8
宮城県	(n=279)	39.8	4.7	7.2	1.8	1.8	0.4	3.2	46.2
秋田県	(n=89)	49.4	52.8	3.4	1.1	4.5	1.1	0.0	18.0
山形県	(n=96)	38.5	19.8	10.4	1.0	2.1	0.0	4.2	32.3
福島県	(n=150)	37.3	11.3	5.3	2.7	2.0	2.0	3.3	39.3
茨城県	(n=327)	49.8	5.5	4.3	2.4	3.4	0.0	8.9	33.9
栃木県	(n=208)	38.0	7.2	12.0	1.0	13.0	6.3	11.1	33.2
群馬県	(n=219)	50.2	16.9	3.7	1.4	3.7	1.4	2.3	27.4
埼玉県	(n=757)	48.3	5.8	5.4	3.0	4.8	1.2	2.2	36.5
千葉県	(n=632)	46.8	6.6	4.9	2.7	3.8	1.6	5.9	37.8
東京都	(n=1,478)	40.8	6.4	6.3	3.3	5.2	1.2	4.2	42.2
神奈川県	(n=1,080)	50.6	7.6	4.7	2.0	3.2	0.4	3.8	36.3
新潟県	(n=207)	47.3	14.0	9.2	2.9	2.9	0.0	2.4	34.8
富山県	(n=106)	36.8	20.8	3.8	0.9	2.8	0.0	6.6	38.7
石川県	(n=98)	32.7	29.6	2.0	0.0	6.1	0.0	6.1	34.7
福井県	(n=70)	27.1	12.9	2.9	0.0	2.9	0.0	17.1	42.9
山梨県	(n=56)	58.9	8.9	3.6	0.0	1.8	0.0	3.6	30.4
長野県	(n=168)	47.6	16.1	1.2	1.2	6.5	0.6	8.3	31.5
岐阜県	(n=172)	47.1	7.6	4.1	1.2	4.7	6.4	2.9	34.3
静岡県	(n=330)	42.7	14.8	6.1	0.6	3.0	3.3	6.7	32.4
愛知県	(n=899)	45.7	6.8	5.2	1.3	5.8	1.0	3.0	39.2
三重県	(n=185)	44.3	5.4	4.3	0.5	5.4	0.5	2.7	44.9
滋賀県	(n=180)	49.4	7.8	2.2	5.6	5.0	0.0	8.3	33.9
京都府	(n=272)	42.3	5.9	3.3	2.2	6.3	0.7	5.9	41.2
大阪府	(n=1,023)	48.1	5.3	4.1	2.3	5.0	1.1	7.3	34.2
兵庫県	(n=603)	50.2	5.1	5.1	2.8	3.8	1.7	4.6	35.3
奈良県	(n=164)	53.7	18.3	1.2	3.7	9.8	0.6	1.2	26.8
和歌山県	(n=92)	55.4	10.9	9.8	0.0	0.0	5.4	2.2	33.7
鳥取県	(n=51)	43.1	13.7	0.0	0.0	0.0	2.0	17.6	25.5
島根県	(n=42)	52.4	35.7	0.0	0.0	2.4	0.0	19.0	14.3
岡山県	(n=150)	44.7	14.7	4.0	2.7	3.3	1.3	7.3	35.3
広島県	(n=278)	35.3	9.7	7.6	5.8	1.8	0.4	6.1	43.5
山口県	(n=129)	44.2	19.4	3.9	0.0	2.3	0.0	1.6	46.5
徳島県	(n=65)	23.1	15.4	7.7	0.0	1.5	0.0	1.5	52.3
香川県	(n=55)	40.0	3.6	7.3	0.0	1.8	0.0	20.0	29.1
愛媛県	(n=71)	42.3	16.9	8.5	0.0	14.1	1.4	4.2	36.6
高知県	(n=62)	38.7	12.9	16.1	17.7	19.4	0.0	9.7	27.4
福岡県	(n=497)	50.5	9.7	6.2	3.0	3.6	0.0	3.0	35.8
佐賀県	(n=65)	49.2	12.3	3.1	0.0	1.5	0.0	12.3	27.7
長崎県	(n=118)	47.5	22.9	4.2	1.7	4.2	0.8	4.2	24.6
熊本県	(n=137)	43.8	12.4	5.8	3.6	3.6	1.5	5.1	33.6
大分県	(n=84)	45.2	11.9	0.0	1.2	3.6	0.0	2.4	44.0
宮崎県	(n=80)	32.5	8.8	8.8	1.3	7.5	1.3	6.3	45.0
鹿児島県	(n=99)	36.4	6.1	4.0	0.0	3.0	5.1	12.1	44.4
沖縄県	(n=50)	44.0	16.0	2.0	0.0	8.0	0.0	6.0	30.0

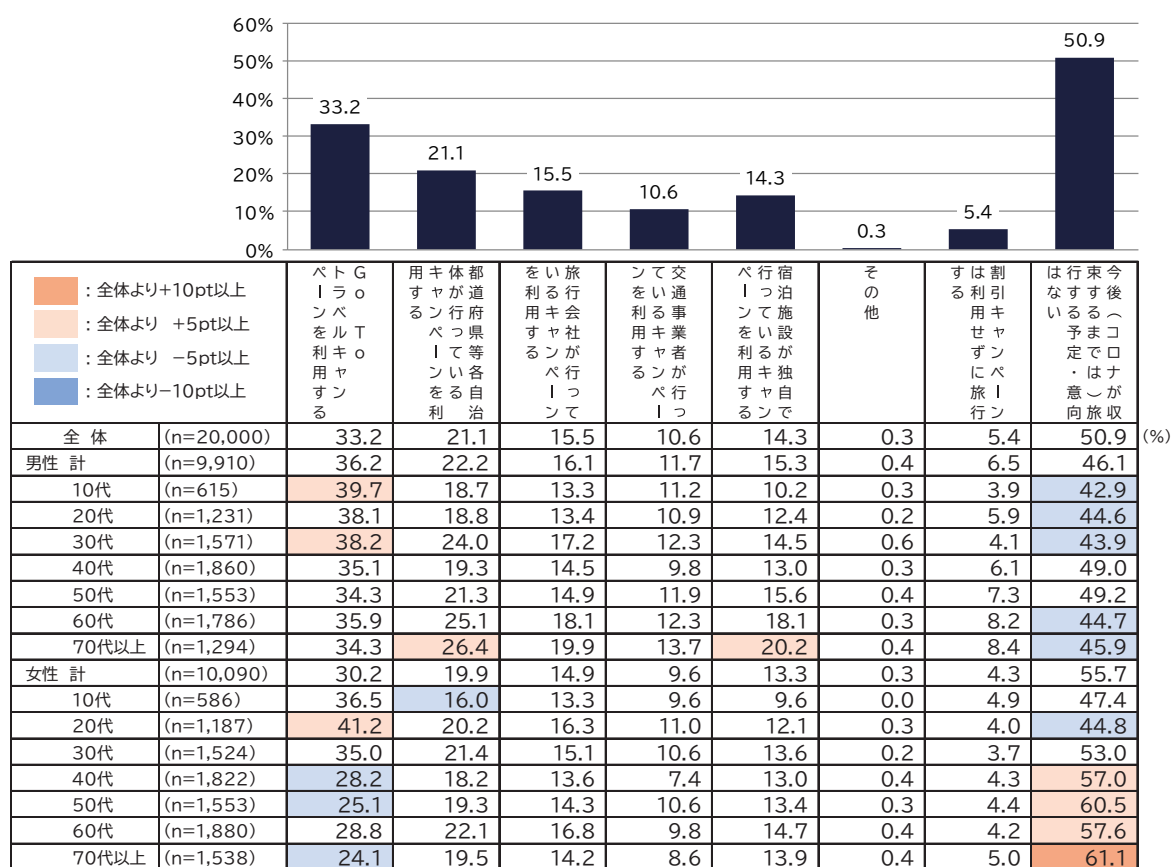
## 2. 割引キャンペーンの今後の利用予定・意向

今後の国内宿泊観光旅行における各種割引キャンペーンの利用予定・意向を尋ねたところ（各キャンペーンの実施を想定し回答）、旅行意向がある人においては、「Go To トラベ

「Go To トラベルキャンペーン」の利用希望が 33.2%で最も多かった。その他のキャンペーンについても 1～2割が希望する結果となっているが、コロナ禍で自家用車での移動を好む傾向にあるためか、「交通事業者が行っているキャンペーン」については、他に比べて希望が少ない。また、5.4%の人は「割引キャンペーンを利用せずに旅行する」としており、男性の高齢層でやや多い。

一方で、半数以上の人には「今後（コロナが収束するまでは）旅行する予定・意向はない」としており、特に女性、その中でも 70 代以上（61.1%）で多い結果となっている。

図表1-3:割引キャンペーンの今後の利用予定・意向



令和2年度の割引キャンペーン利用実態別に今後の利用予定・意向をみると、令和2年度の「Go To トラベルキャンペーン」利用者では、8割以上が今後も同キャンペーンを利用したいと回答している。また、実際に令和2年度内に宿泊観光旅行をした人は、今後の旅行予定・意向が比較的高く、特に「Go To トラベルキャンペーン」以外のキャンペーン利用者（その他除く）では、今後の旅行予定・意向なしは1割に満たない。一方、令和2年度にキャンペーンを利用せず旅行した人について、半数以上は「Go To トラベルキャンペーン」の利用を希望しているものの、14.4%は今後も利用しない、19.4%は旅行予定・意向なしとなっており、キャンペーンを利用して旅行した層とは大きく異なる結果となっている。

図表1-4:割引キャンペーンの利用実態別 今後の利用予定・意向

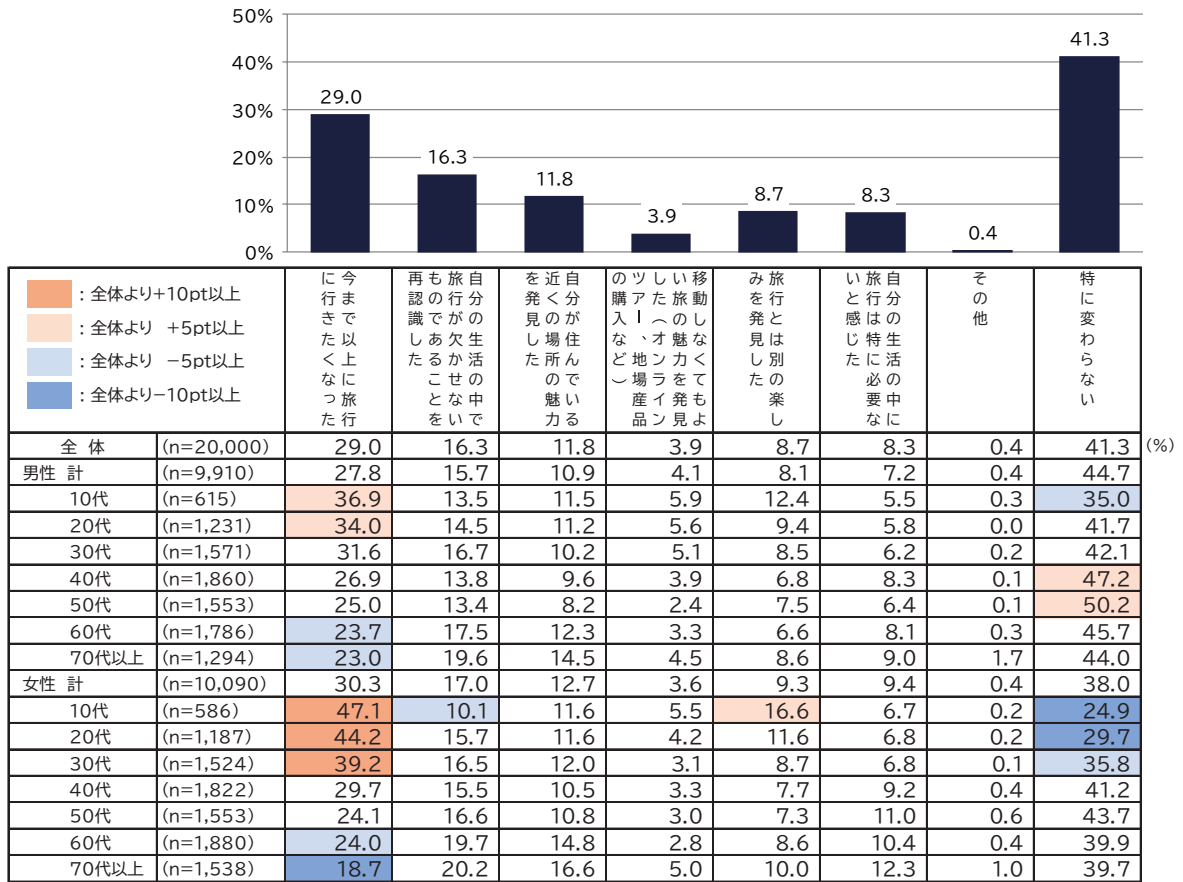
		キャンペーンの利用意向								
		ペトG ーラ ンベ をルT 利キ 用ヤ ン	用キ す ヤ が 道 行 っ 県 で 等 ン い 各 を る 自 治	をい 旅 行 キ 会 社 が 行 っ て	ンて交 通 を 利 用 キ 業 者 が 行 っ	ベ行宿 ーっ泊 ンて施 を設 利が 用キ ン独 ン自 行	そ の 他	すは割 る引 用キ ヤ ン に 旅 行	は行束 なすす いする る後 予ま 定で ・は 意ナ が 向旅 収	
		全体より+10pt以上	全体より +5pt以上	全体より -5pt以上	全体より-10pt以上					
キャンペーンの利用実態	宿泊観光旅行(全体)	(n=5,843)	64.7	39.5	27.1	18.1	24.6	0.2	7.7	15.5 (%)
	Go To トラベルキャンペーン	(n=3,431)	81.5	48.5	32.2	21.6	28.8	0.1	2.8	10.1
	都道府県等各自自治体が行っているキャンペーン	(n=828)	78.5	72.3	37.7	25.8	35.7	0.2	1.4	8.6
	旅行会社が行っているキャンペーン	(n=388)	70.9	55.2	56.4	28.1	34.3	0.0	1.0	5.9
	交通事業者が行っているキャンペーン	(n=191)	66.0	54.5	47.1	48.2	31.9	0.0	1.6	4.7
	宿泊施設が独自で行っているキャンペーン	(n=350)	71.4	58.3	50.9	35.1	56.9	0.3	1.7	5.7
	その他	(n=83)	60.2	47.0	38.6	31.3	34.9	1.2	4.8	12.0
	おぼえていない	(n=328)	49.7	24.7	19.2	11.6	15.2	0.3	8.8	22.0
	割引キャンペーンは利用していない	(n=2,490)	53.3	33.1	23.6	16.9	23.7	0.4	14.4	19.4

### 3. コロナ禍での観光旅行に対する思いの変化

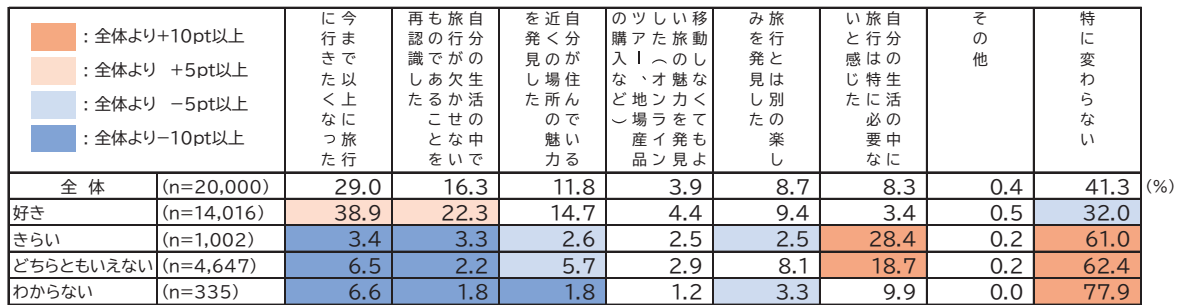
コロナ禍で旅行に対する思いの変化や気づきがあったか尋ねたところ、「特に変わらない」が 41.3%で、約6割は何らかの変化や気づきがあったという結果となった。特に「今まで以上に旅行に行きたくなった」が 29.0%で最も多く、男性 20 代以下、女性 30 代以下でその傾向が強い。一方、男女とも 60 代以上では他の年代に比べてやや割合が低い。また、「自分が住んでいる近くの場所の魅力を発見した」は 11.8%であり、移動が制限されるコロナ禍において、自分が住んでいる都道府県内や近隣エリア内を目的地とした旅行が多くなり、身近なものの中にある旅の要素の再発見、気づきにつながったと考えられる。

もともとの旅行に対する好み別に思いの変化をみると、旅行が好きな人については、「今まで以上に旅行に行きたくなった」(38.9%)や「自分の生活の中で旅行が欠かせないものであることを再認識した」(22.3%)が多く、自由に旅行できないからこそ、その重要性に気づいたという回答が多くなっている。一方で、それ以外の層については、「特に変わらない」が6割以上となっている。また、旅行がきらい、どちらともいえない層については、「自分の生活の中に旅行は特に必要ないと感じた」がそれぞれ 28.4%、18.7%と比較的高い割合となっており、もともと旅行がきらい、関心が薄い人たちの心理的な旅行離れがコロナ禍によって進んでいることが読み取れる。

図表1-5:コロナ禍での観光旅行に対する思いの変化



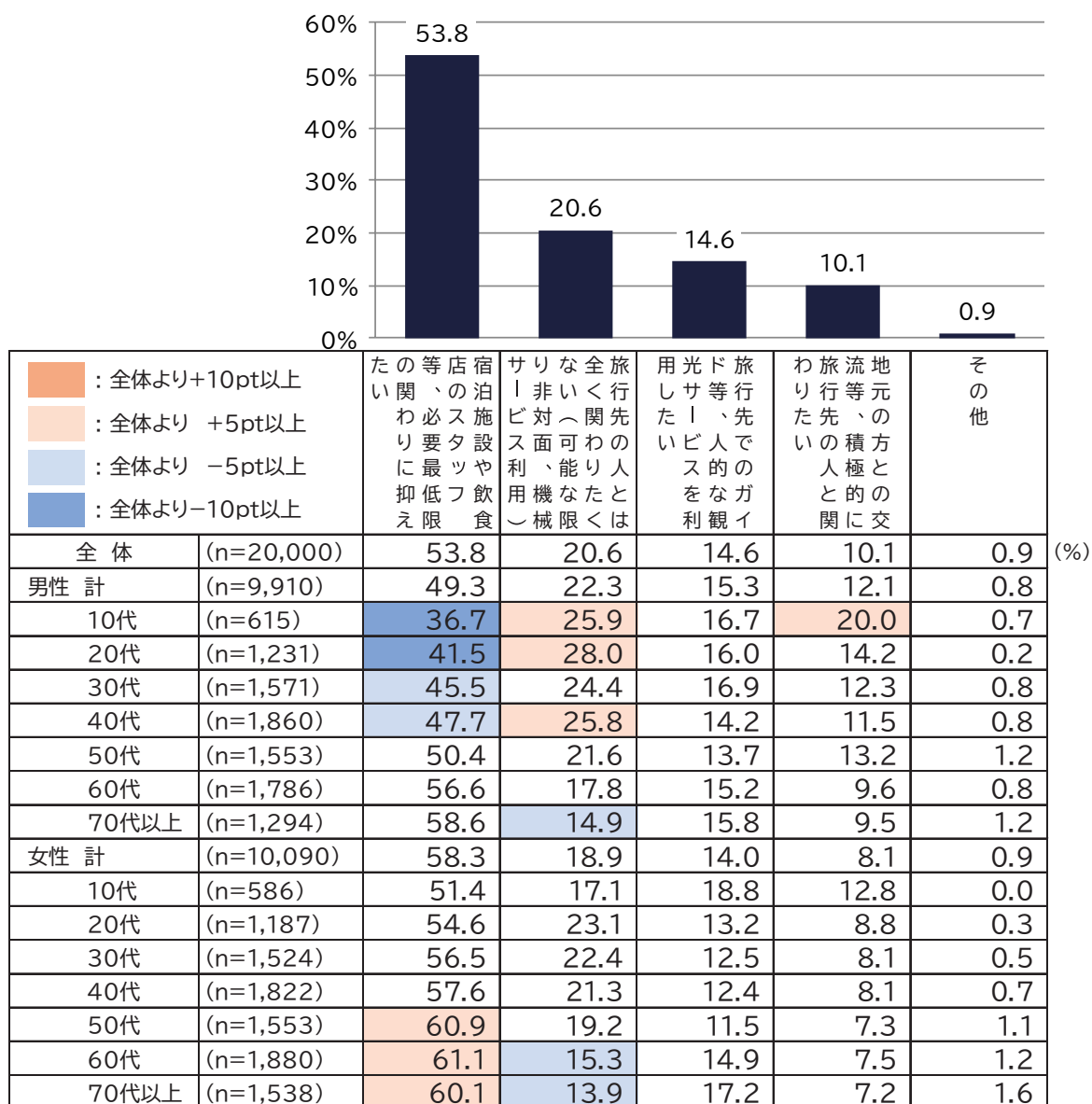
図表1-6:旅行に対する好み別コロナ禍での観光旅行に対する思いの変化



#### 4. コロナ禍の旅行での人との関わり

今後1年間くらいの間に旅行に出かけると想定した場合、旅行先で求める人との関わりについて尋ねたところ、半数以上が「宿泊施設や飲食店のスタッフ等、必要最低限の関わりに抑えたい」と回答した。この回答には男女差があり、男性では49.3%、女性では58.3%となっている。男女とも年齢が上がるにつれて必要最低限の関わりへの希望度合いが高くなる傾向にあり、女性の50代以上では60%以上となっている。2番目に多いのは、「旅行先の人とは全く関わりたくない」で、全体で20.6%、特に男性10代、20代、40代で25%以上と比較的多い。一方で、「旅行先でのガイド等、人的な観光サービスを利用したい」（14.6%）、「地元の方との交流等、積極的に旅行先の人と関わりたい」（10.1%）というように、旅行先で積極的な人との関わりを求める人も全体の4分の1程度おり、特に10代でその傾向がみられる。

図表1-7: コロナ禍の旅行での人との関わり

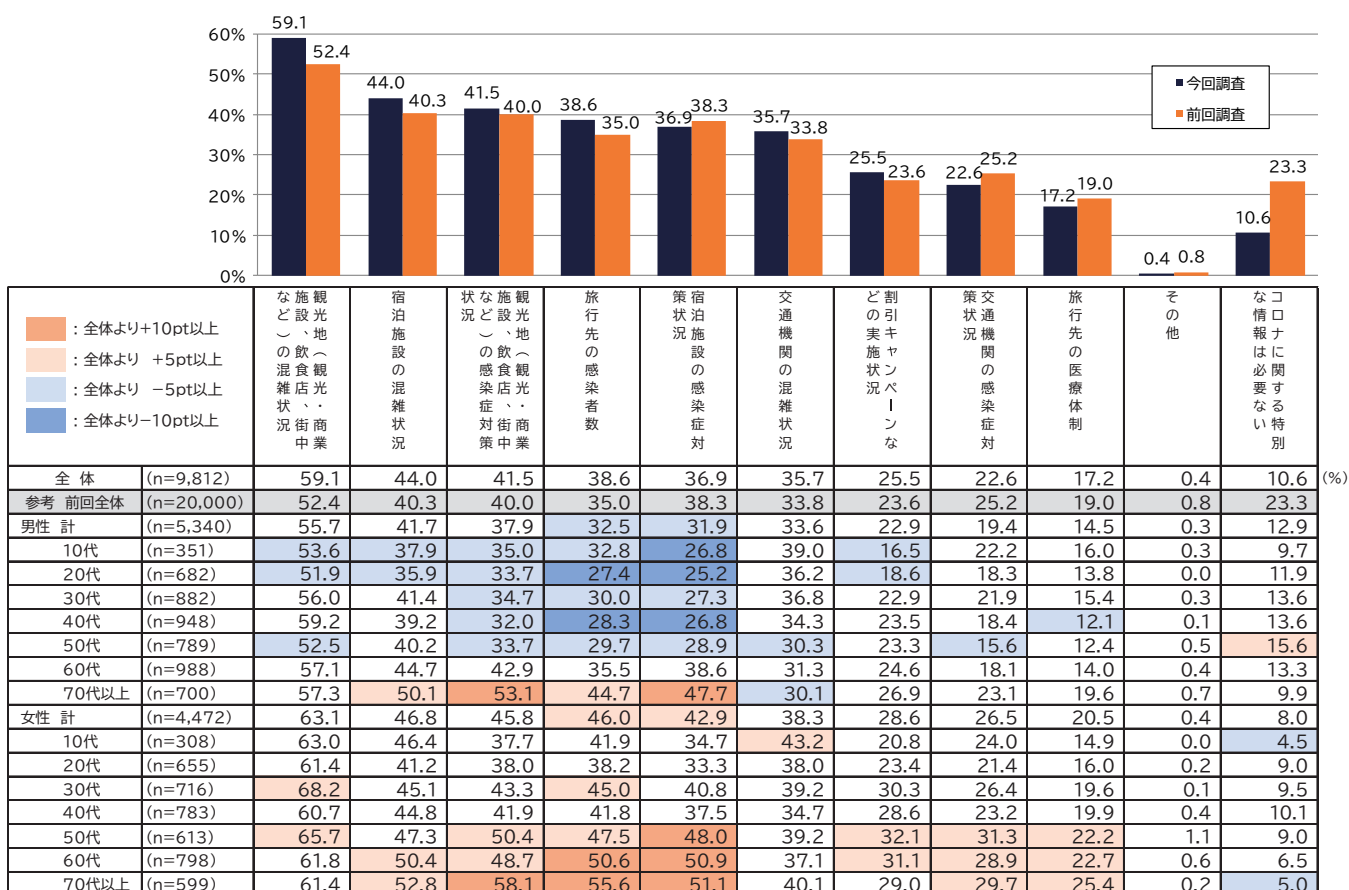


## 5. コロナ禍の旅行で必要な情報および入手ルート

コロナ禍において旅行先を決定する際に必要な情報について尋ねたところ（今回はコロナ禍での旅行予定・意向がある人のみに聴取）、「観光地（観光・商業施設、飲食店、街中など）の混雑状況」が59.1%で最も多く、次いで「宿泊施設の混雑状況」（44.0%）、「観光地（観光・商業施設、飲食店、街中など）の感染症対策状況」（41.5%）と続いており、この上位3つは、前回同様の順位となっている。一方、「コロナに関する特別な情報は必要ない」は、前回23.3%だったのに対して、今回は10.6%と大幅に減少しており、旅行先の決定に際し、コロナに関する情報が多くの人に重要視されるようになってきたことがうかがえる。

前回調査同様、必要な情報については男女間で差があり、男性よりも女性の方がより多くの情報を求めている。特に女性の50代以上においては、旅行先の混雑状況や感染症対策状況はもちろん、旅行先の医療体制についても比較的高い関心を持っている。

図表1-8:コロナ禍において旅行先決定の際に必要な情報

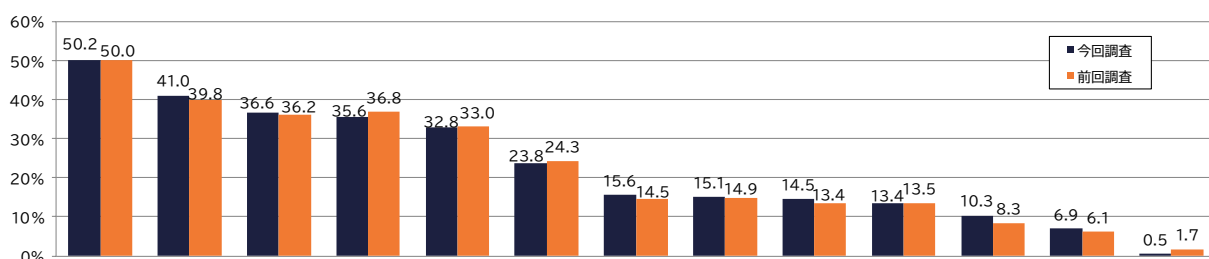




必要な情報をどこから入手するかについては、「旅行先の自治体（行政）のホームページ」が50.2%で最も多く、次いで、「旅行先の観光協会のホームページ」（41.0%）、「旅行会社のホームページ」（36.6%）となっている。前回と比べて入手経路の順位はいくつか異なっているが、割合はどの項目も前回と同程度であり、前回同様、公的かつ随時更新可能なインターネット媒体から情報を入手する割合が高くなっている。

すべての年代において、最も多いのは「旅行先の自治体（行政）のホームページ」であり、それぞれの性・年代で半数前後の割合となっている。「旅行先の観光協会のホームページ」については、男女とも40代以上では4割以上となっているが、30代以下の若い世代では、コロナに関する情報の入手経路としての利用が比較的少ない。一方、若い世代は「個人など私的なSNSからの情報」の割合が高くなっており、特に女性10代（27.2%）、20代（29.7%）で顕著である。女性10代、20代においては、「自治体や旅行会社など公的なSNSからの情報」も20%以上となっており、私的・公的に関わらず、SNSから必要な情報を得ているという回答が、他の性年代に比べて多くなっている。

図表1-9:コロナ禍において必要な情報の入手経路

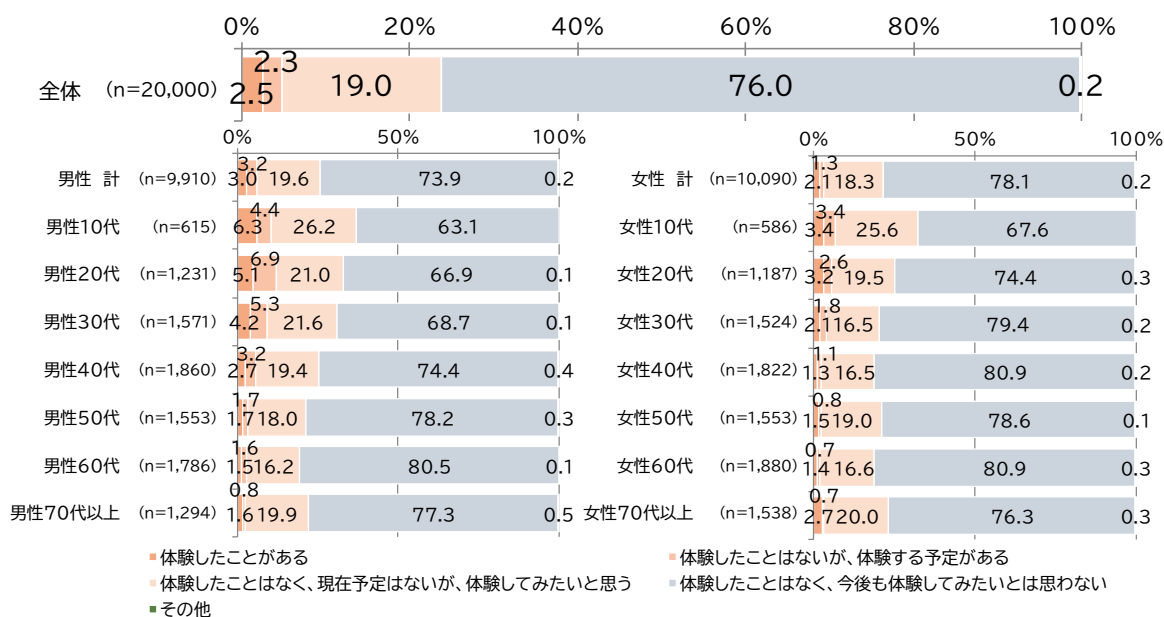


		全体より+10pt以上	全体より+5pt以上	全体より-5pt以上	全体より-10pt以上										
		自治体（行政）のホームページ	観光協会のホームページ	旅行会社のホームページ	観光施設・商業施設や宿泊施設の公式サイト	インターネット（口コミ・SNS）	テレビ・ラジオの番組	家族・友人の話	新聞・雑誌の記事	自治体や旅行会社からの情報	観光案内所・情報センター	個人など私的なSNSからの情報	ブログからの情報	その他	
全体	(n=8,768)	50.2	41.0	36.6	35.6	32.8	23.8	15.6	15.1	14.5	13.4	10.3	6.9	0.5	
参考	前回全体 (n=15,347)	50.0	39.8	36.2	36.8	33.0	24.3	14.5	14.9	13.4	13.5	8.3	6.1	1.7	
男性計	(n=4,653)	49.7	41.9	37.3	34.1	32.4	22.6	13.5	15.7	13.1	13.3	8.7	7.2	0.5	
10代	(n=317)	52.4	29.0	28.1	26.2	25.6	21.8	17.7	10.7	17.0	9.1	15.8	9.1	0.0	
20代	(n=601)	46.9	33.4	32.1	25.3	32.1	17.3	15.1	9.5	18.3	7.8	18.6	9.3	0.0	
30代	(n=762)	51.7	38.7	38.8	30.3	37.1	19.9	15.4	10.5	16.7	9.8	13.1	11.3	0.3	
40代	(n=819)	49.3	40.3	36.4	31.4	34.1	21.4	14.8	13.1	13.6	11.5	8.4	8.9	0.9	
50代	(n=666)	49.8	44.7	38.4	35.0	34.2	20.7	12.5	14.4	7.5	10.7	5.4	6.2	0.2	
60代	(n=857)	49.2	49.0	39.2	41.3	30.3	24.7	9.7	17.5	9.3	17.4	2.3	4.2	0.5	
70代以上	(n=631)	49.6	49.9	42.6	43.7	29.3	32.0	11.9	32.6	12.2	24.1	2.9	2.2	1.4	
女性計	(n=4,115)	50.7	39.9	35.7	37.3	33.3	25.1	18.0	14.3	16.0	13.5	12.1	6.5	0.6	
10代	(n=294)	45.2	29.3	31.6	28.2	30.3	23.5	18.4	6.8	22.8	8.8	27.2	5.4	0.0	
20代	(n=596)	47.0	29.2	30.4	28.9	33.1	19.5	18.1	6.4	27.7	5.7	29.7	4.7	0.3	
30代	(n=648)	53.4	37.3	33.0	37.2	35.8	22.5	18.5	6.9	18.7	9.9	15.9	9.3	0.5	
40代	(n=704)	51.3	41.6	35.1	36.8	35.9	21.0	15.5	9.2	14.1	12.9	9.4	9.2	0.6	
50代	(n=558)	54.1	45.0	36.6	45.2	40.1	27.1	17.9	13.6	10.6	15.4	6.3	7.3	0.9	
60代	(n=746)	50.1	46.6	41.8	42.6	29.6	27.7	17.3	21.0	10.3	16.9	3.1	4.7	0.7	
70代以上	(n=569)	50.8	43.2	38.5	36.6	26.9	34.1	21.4	33.2	12.7	22.8	2.5	3.7	0.7	

## 6. オンライン旅行体験への参加

令和2年度内に、オンラインツアーやオンラインでのアクティビティ体験、VRでの観光体験など、実際に現地に行かずにオンライン上で旅行を楽しむ体験\*（以下、オンライン旅行体験）をしたことがあるか、または今後体験する予定があるか尋ねたところ、「体験したことがある」は2.5%と、非常に少ない結果となった。「体験したことはないが、体験する予定がある」も2.3%と少なく、コロナ禍でオンライン旅行商品が増えてきたものの、一般的にはオンライン旅行が普及しているとは言えない状態である。体験者および予定がある人の割合は、女性よりも男性の方が高く、特に、10代～30代が他の年代に比べてやや多くなっている。「体験したことはなく、現在予定はないが、体験してみたいと思う」は、男女ともに年代が下がるにつれて割合が高くなる傾向にあり、今後もオンライン旅行体験は若い世代を中心に行われていくと推測される。

図表1-10: オンライン旅行体験の有無(全体/性・年代別)



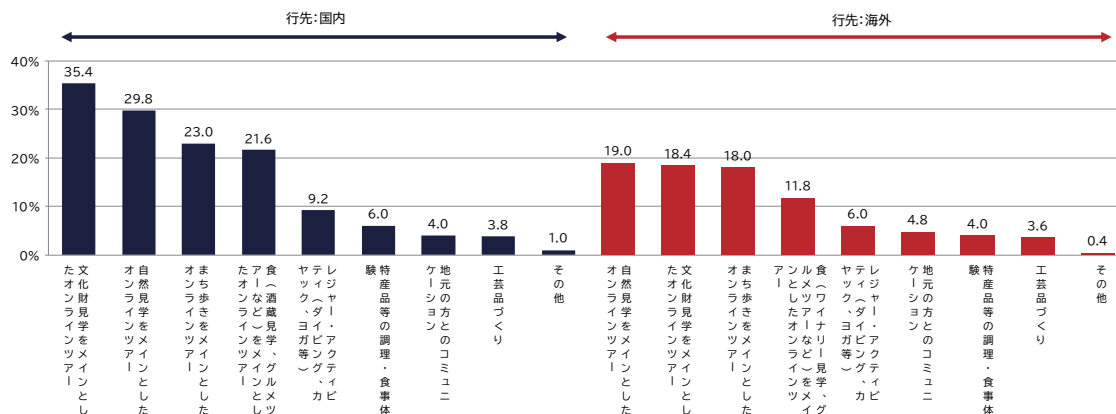
令和2年度のオンライン旅行体験者 (n=500) に対して、その体験内容を尋ねたところ、国内を行先とした「文化財見学をメインとしたオンラインツアー」が35.4%で最も多かった。次に「自然見学」(29.8%)、「まち歩き」(23.0%)、「食」(21.6%)をメインとした国内のオンラインツアーが続く。上位4つはいずれも国内のオンラインツアーとなっている。行先を海外とした場合も、人気が高いのはオンラインツアーであるが、国内とは異なり「自然見学」(19.0%)をメインとしたものが最も多くなっている。

同じく体験者 (n=500) に対し、オンライン旅行体験についてどのように感じたかを聴取したところ、「オンライン上での体験でさらに興味がわいたため、実際に現地にも行ってみたい、現実でも同じ体験をしてみたい」と答えた人が50.0%で最も多かった。「オンライン上での体験では物足りなかったため、実際に現地に行ってみよう、現実で同じ体験をしてみ

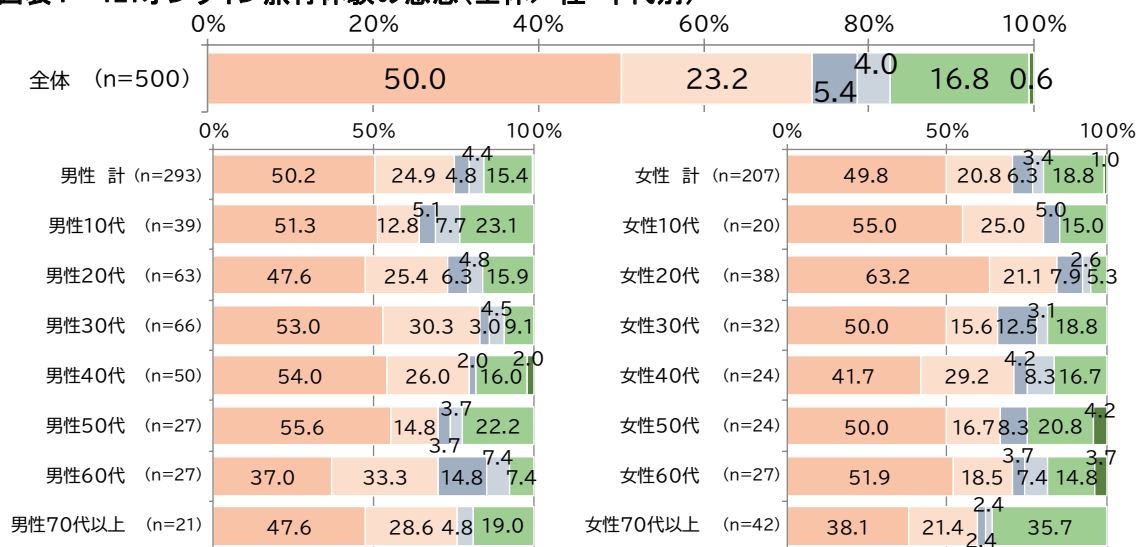
※オンライン上での旅行先は国内・海外を問わない。ただし、体験期間は令和2年度内に限る。

たい」が 23.2%で続き、オンライン旅行体験を通して、現地での旅行、体験に意欲的になった人は7割を超える。一方で、「現実とは別のものとして、今後もオンライン上で体験をしたい」は 16.8%となっており、オンライン旅行体験を実際の旅行とは切り離して考えている人も一定数いる。男性に比べて女性の方がその傾向が強く、特に女性の70代以上では 35.7%がオンライン旅行体験を現実とは別のものとしてとらえている。

図表1-11: オンライン旅行体験の内容 (n=500)



図表1-12: オンライン旅行体験の感想(全体/性・年代別)

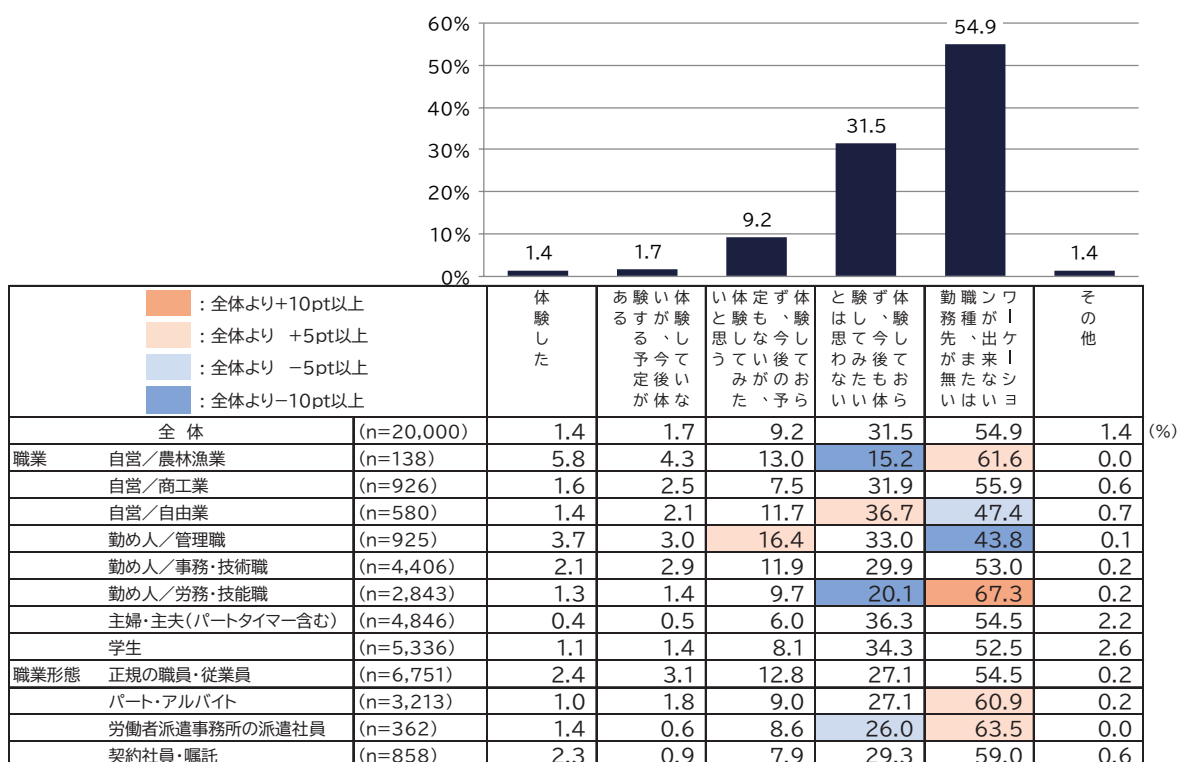


- オンライン上での体験でさらに興味がわいたため、実際に現地にも行ってみたい、現実でも同じ体験をしてみたい
- オンライン上での体験では物足りなかったため、実際に現地に行ってみよう、現実で同じ体験をしてみたい
- オンライン上での体験で満足したため、実際に現地に行くことはない、現実で同じ体験をすることはしない
- オンライン上での体験が不満だったため、実際に現地に行くことはない、現実で同じ体験をすることはしない
- 現実とは別のものとして、今後もオンライン上で体験をしたい
- その他

## 7. ワークーションの実態と志向

コロナ禍でテレワークが普及する中、旅行先のホテル等で仕事をする、ワークーションにも注目が集まっている。そこで、令和2年度内にワークーションを体験したか、または今後体験する予定があるか尋ねたところ、体験したのは全体でわずか1.4%という結果となった。「ワークーションが出来ない職種、または勤務先が無い」という人が半数以上を占める中ではあるが、ワークーションの体験者は非常に限られており、今後の予定がある人も1.7%のみである。また、「体験しておらず、今後の予定もないが、今後体験してみたいと思う」は9.2%であるのに対し、「体験しておらず、今後も体験してみたいとは思わない」は31.5%となっており、圧倒的にワークーションを希望しない人の方が多い。職業や職業形態に限らず、希望しない人の方が多くなっているが、勤め人/管理職においては、「体験してみたいと思う」が16.4%と比較的高い割合となっている。

図表1-13: ワークーションの実態と志向



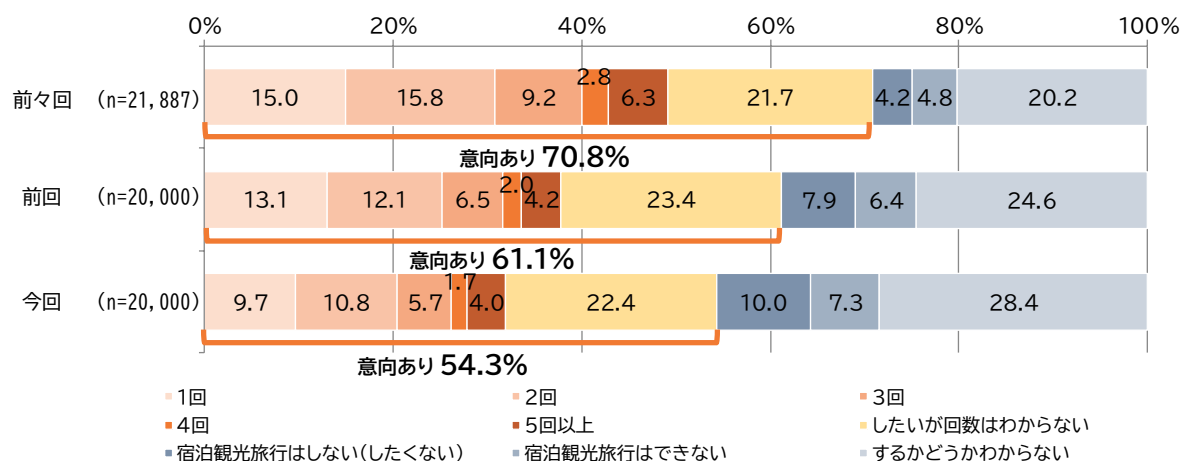
## 8. 今後の宿泊観光旅行への希望

今後1年間の国内宿泊観光旅行への希望をコロナ禍前である前々回\*、コロナ禍である前回\*の調査結果と比較すると、旅行意向を示した人の割合は、前回の61.1%から6.8ポイント減少し、54.3%となった。前々回の70.8%からは16.5ポイントも減少している。コロナ禍で先行き不透明な状態が続いているため、外出自粛の観点から、今後1年間は宿泊観光旅行を控えるという人が多くなっていると考えられる。

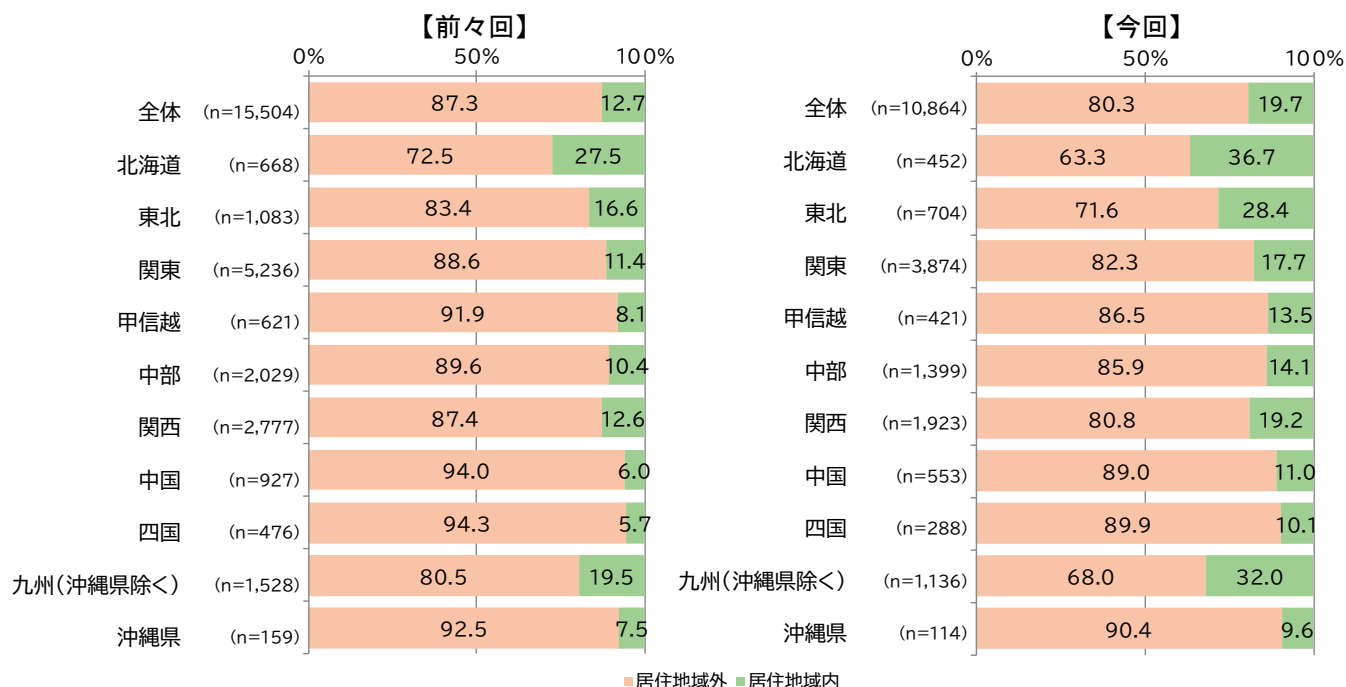
※前々回調査：令和元年10月4日～10月7日実施、前回調査：令和2年9月25日～10月1日実施

希望する旅行先に関して、旅行意向がある人に限定してみると、居住地域内<sup>\*</sup>と答えた人は19.7%で、コロナ禍前である前々回(12.7%)から7ポイント増加している。居住地域別にみても、すべての地域において「居住地域内」への旅行を希望する割合が前々回よりも高くなっている。中でも九州(沖縄県除く)、東北での増加率が大きい。また、北海道と九州(沖縄県除く)では、「居住地域内」への旅行希望率が3割以上となっている。

図表1-14: 宿泊観光旅行への希望回数の変化



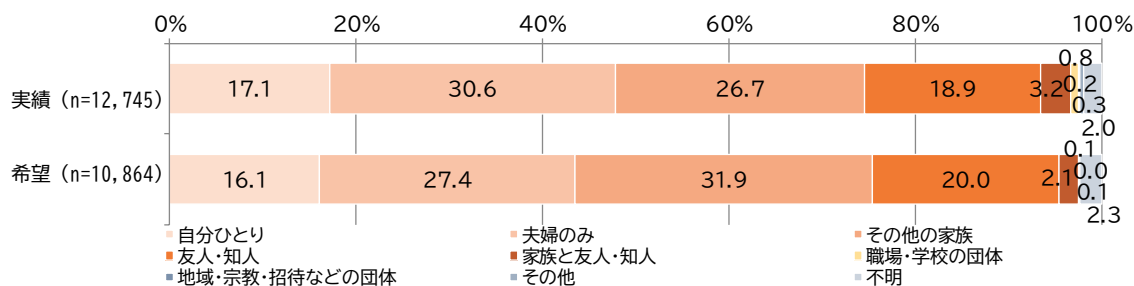
図表1-15: コロナ禍前後の希望旅行先の比較



※地域区分: 北海道・東北・関東・甲信越・中部・関西・中国・四国・九州(沖縄県除く)・沖縄県

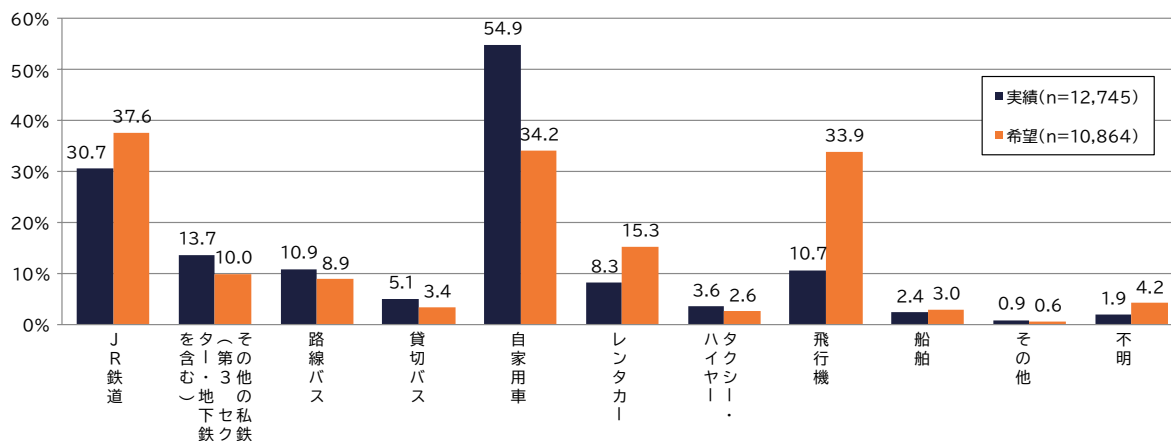
希望する国内宿泊観光旅行の同行者については、「その他の家族(夫婦以外の家族)」と答えた人が最も多く 31.9%と3割以上を占める。次に「夫婦のみ」(27.4%)が続き、家族旅行(夫婦のみ+その他の家族)希望者は計59.3%である。令和2年度の実績においても57.3%が家族旅行となっている。「職場・学校の団体」は0.1%、「地域・宗教・招待などの団体」は0.0%と団体旅行への希望は非常に少ない。

図表1-16: 同行者の実績と希望の比較



交通手段については、「JR鉄道」の利用希望が37.6%で最も多く、「自家用車」(34.2%)「飛行機」(33.9%)と続く。令和2年度の実績では、人との接触を避けるためか「自家用車」の利用が非常に多かったが、希望については3割台となっている。一方で、「飛行機」については希望が実績を大幅に上回っている。

図表1-17: 利用交通手段の実績と希望の比較



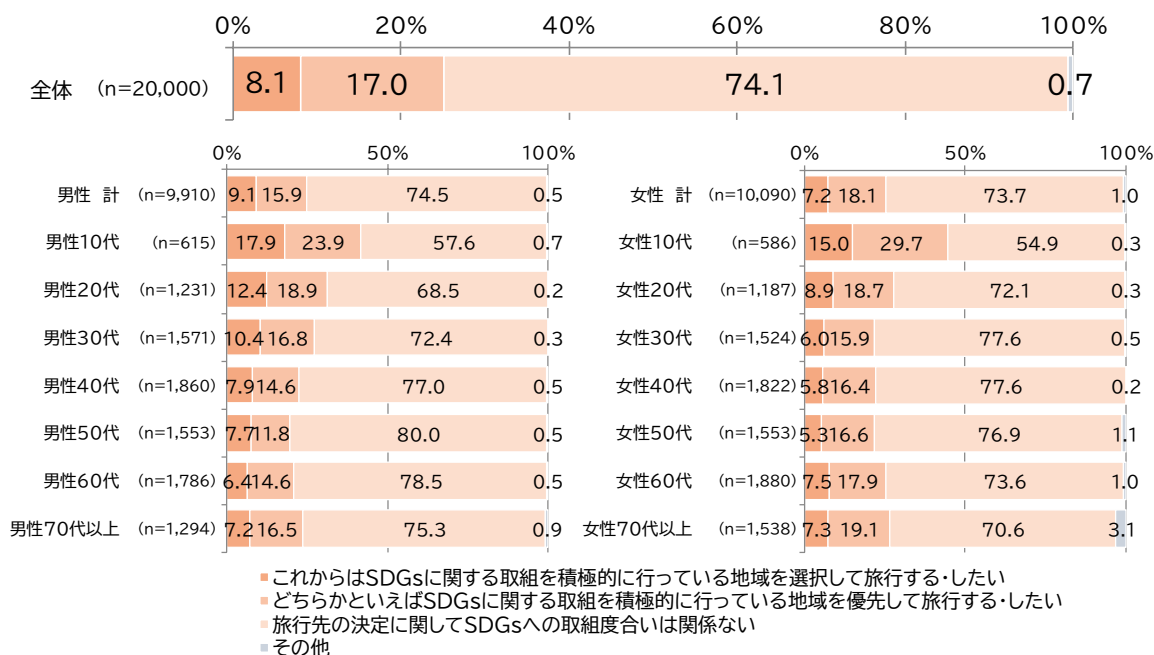
## ～研究員コラム～

近年、世界中で「持続可能な開発目標（SDGs）」への注目が集まっており、新学習指導要領に「持続可能な社会の創り手の育成」が明記されるなど、SDGs の普及が若い世代を中心に広がっている。

観光分野においても SDGs の関心は高まっており、最近では、SDGs に関するセミナーを耳にすることも多い。国土交通省観光庁では、「持続可能な観光ガイドライン（JSTS-D）」を令和2年6月に公表し、持続可能な観光の普及促進に取り組んでいる。世界規模の調査では、SDGs は今や、旅行先を決める際の重要なファクターの1つとなっていることが示されており、日本でも選ばれる観光地としての準備が進んでいる。では、日本国内の人々はどれくらい観光と SDGs を結びつけて考えているのだろうか？

今回はそんな疑問から、旅行先の地域が SDGs に関する取組をしていることが、旅行先として選ばれることにどれくらい影響するのかを調査した。

図表：旅行先を決定する際の要因(SDGs)



全体で見ると、74.1%と大多数の人が「旅行先の決定に関して SDGs に関する取組度合いは関係ない」と回答している。しかし、「これからは SDGs に関する取組を積極的に行っている地域を選択して旅行する・したい」(8.1%)と「どちらかといえば SDGs に関する取組を積極的に行っている地域を優先して旅行する・したい」(17.0%)を合わせると約4分の1を占めており、旅行先決定において SDGs を重視している人も少なくない。男女とも特に10代において SDGs への関心が高く、SDGs に関する取組を積極的に行っている地域への旅行を希望する人が多くなっている。

## 2. 令和3年度調査結果のポイント

本調査は、全国の20,000人を対象に、令和2年度（令和2年4月～令和3年3月までの1年間）の国内旅行の実態と、今後の希望について調査を行ったものである。この調査は、昭和39年から継続して実施しており、国民の観光動向を55年以上のロングスパンで比較検証できる調査である。ただし、平成24年度調査（23年度の宿泊観光旅行実態を調査）より、訪問留置調査から現在のインターネット調査へと調査手法を変更したため、平成22年度以前と平成23年度以降のデータとでは単純に比較はできない。

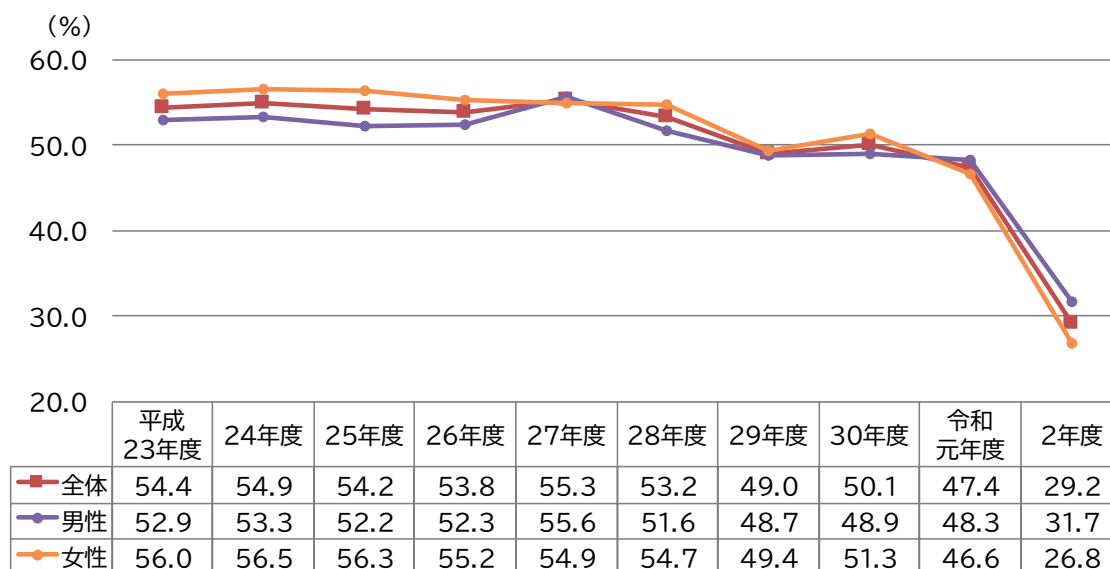
令和2年度の宿泊観光旅行は、昨年度の旅行実態よりも参加率が大きく減少しており、また参加希望についても減少している。この1年を通して実績・希望とともに新型コロナウイルス感染拡大の影響が現れたものと考えられる。

### Data 1 宿泊観光旅行の参加率

令和2年度における宿泊観光旅行への参加率は29.2%となり、昨年度に比べ18.2ポイントの大幅な減少となっている。宿泊観光旅行の参加率は、昨年度から低下していたが、今年度においてはさらに大きな減少となった。性別にみると、男性の参加率は昨年度に比べ16.6ポイント減の31.7%、女性の参加率は昨年度に比べ19.8ポイント減の26.8%であった。男性に比べて、女性の参加率の減少幅がより大きい。

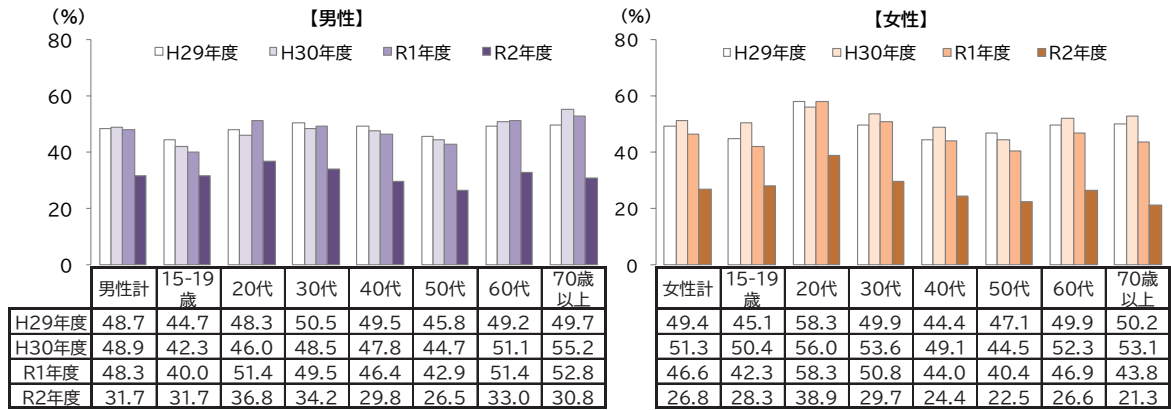
性・年代別にみると、男女ともすべての年代で参加率が減少しており、70歳以上で減少幅が最も大きい。全体的に参加率が落ち込む中、20代においても大幅な減少となったものの、その参加率は男女とも35%以上と、他の年代に比べると高くなっている。

図表2-1：宿泊観光旅行参加率の推移(全体／性別)





図表2-2: 宿泊観光旅行参加率の推移(性・年代別)

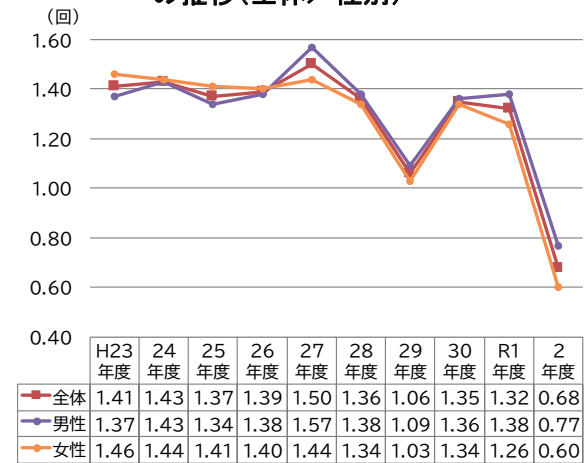


Data 2 宿泊観光旅行の回数

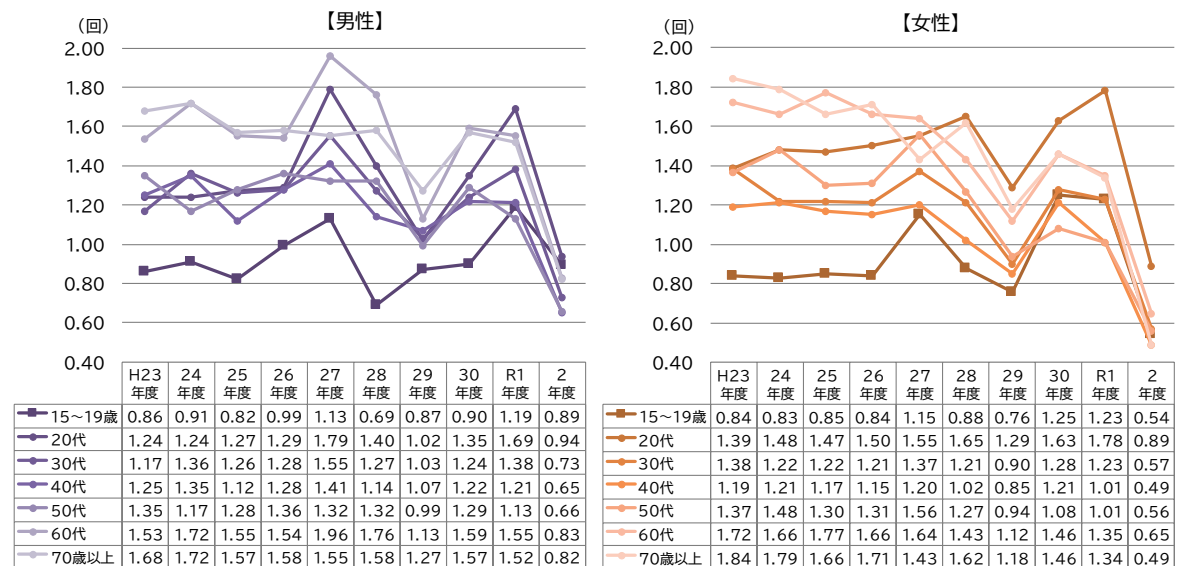
宿泊観光旅行への参加回数は全体で 0.68 回と昨年度に比べ大幅に減少し、平成 23 年度以降最も少ない。性別にみても男女ともに全体と同様、約 5 割減となっている。

性・年代別では男女とも全ての年代で昨年度から参加回数が大きく減少している。特に女性の 20 代と 70 歳以上での減少が顕著で、ともに 0.8 回以上減少している。

図表2-3: 宿泊観光旅行への参加回数(全体平均)の推移(全体/性別)



図表2-4: 宿泊観光旅行への参加回数(全体平均)の推移(性・年代別)

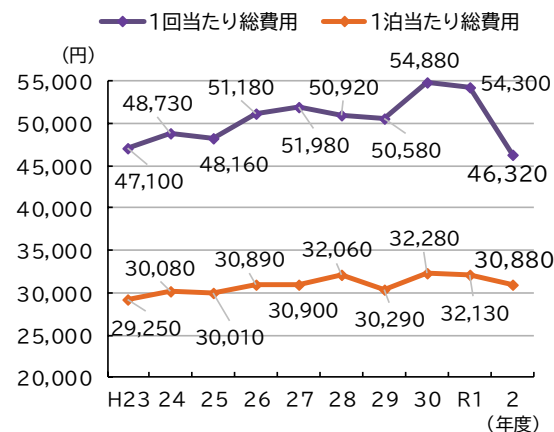


### Data 3 旅行費用

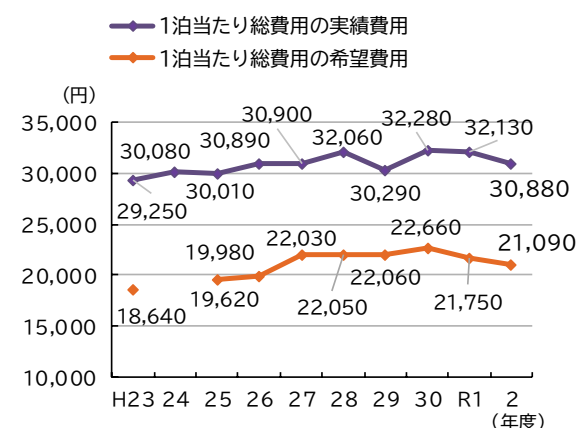
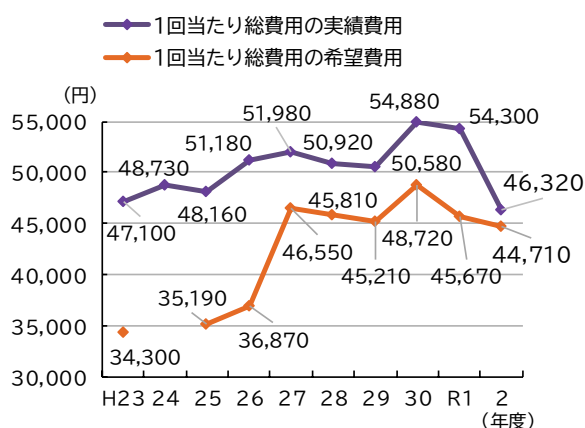
宿泊観光旅行における1回当たりの総費用は46,320円で、昨年度から7,980円の大幅な減少となっている。1泊当たりの総費用は30,880円で、昨年度より1,250円の減少である。

一方、希望費用では、1回当たりの総費用が44,710円と、昨年度から960円減少し、実績と希望の差が縮小した。1泊当たりの総費用は21,090円と、昨年度から660円の減少である。

図表2-5: 宿泊観光旅行の総費用の推移 (1回当たり/1泊当たり)



図表2-6: 宿泊観光旅行の総費用の推移(1回当たり/1泊当たりの実績と希望)

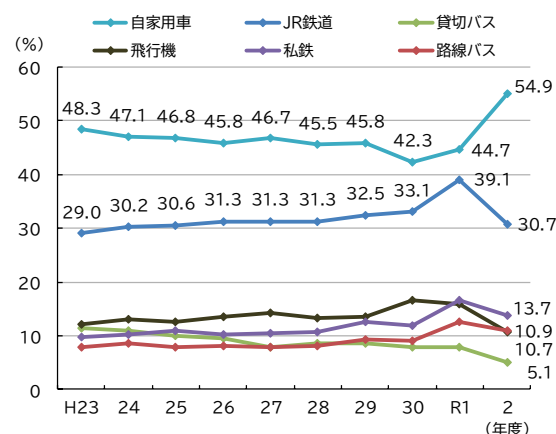


※平成25年度調査(平成24年度)の希望費用は、聴取方法を変更しているためデータの比較が難しく、掲載をしていない。

### Data 4 交通手段

宿泊観光旅行における利用交通手段は、「自家用車」が54.9%で最も多く、次いで「JR鉄道」が30.7%、「私鉄」が13.7%と続く。昨年度と比較すると、「自家用車」が10.2ポイント増と大きく増加、一方「JR鉄道」は8.4ポイント減と大きく減少している。「自家用車」を除く全ての交通手段の利用率が昨年度より減少しており、交通手段でもコロナ禍の影響がみられる。

図表2-7: 宿泊観光旅行の利用交通手段の推移

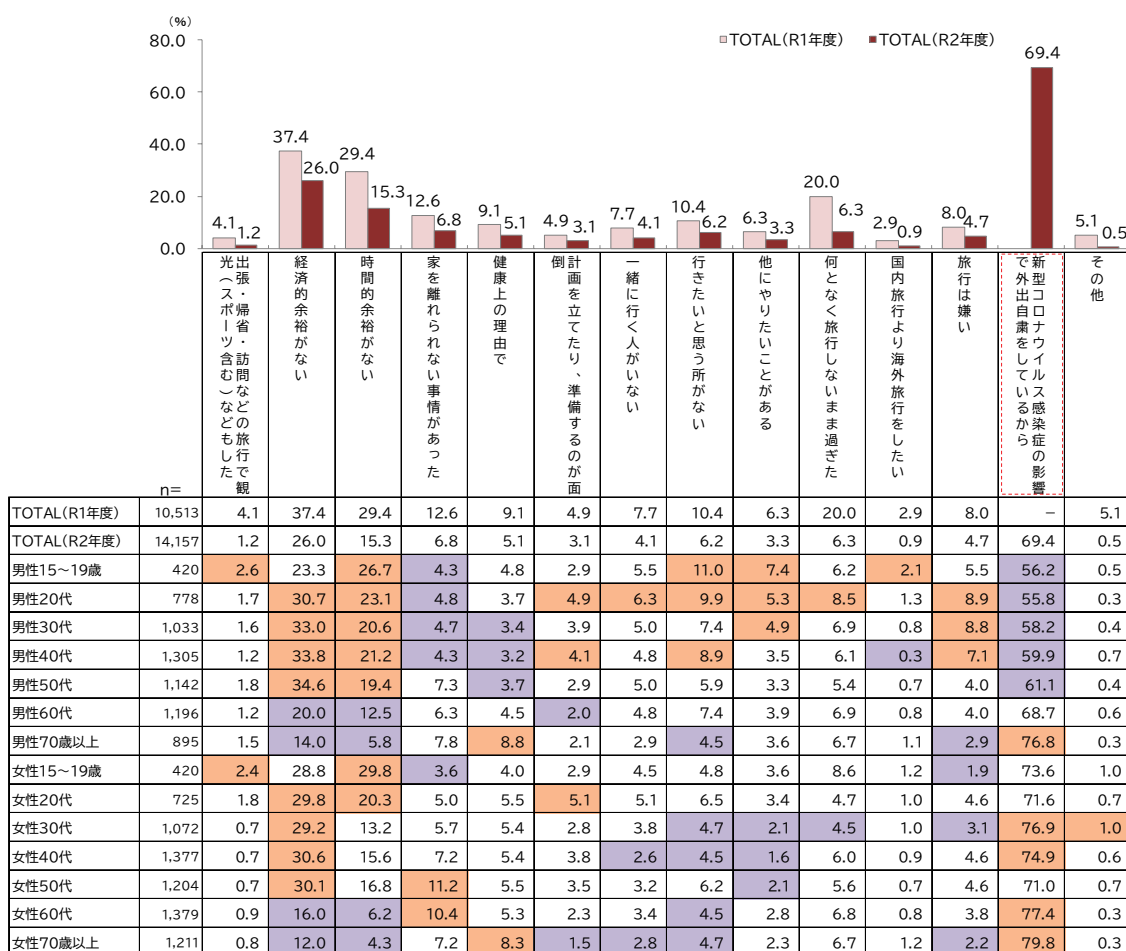


## Data 5 宿泊観光旅行をしなかった理由

性・年代別に宿泊観光旅行をしなかった理由をみると、「新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛をしているから」の割合が全ての性・年代において最も高く、特に女性の層ではいずれの年代も7割以上を占めている。その他の理由をみると、男女ともに20代～50代は「経済的余裕がない」をあげる割合が高く、各層で3割前後となっている。また、男性50代以下及び女性20代以下の層では「時間的余裕がない」の割合も高い。一方、高齢層では、男女とも70歳以上で「健康上の理由で」、女性50・60代では「家を離れられない事情があった」の割合が他の層に比べ高い。

昨年度調査と比較すると、いずれの項目でも減少しており、今年度調査においては新型コロナウイルス感染症の影響が非常に大きなものであったことがわかる。

図表2-8: 宿泊観光旅行をしなかった理由の比較



※ TOTALよりも95%以上の水準で有意に高い

※ TOTALよりも95%以上の水準で有意に低い

※ ベース: 宿泊観光旅行をしていない人

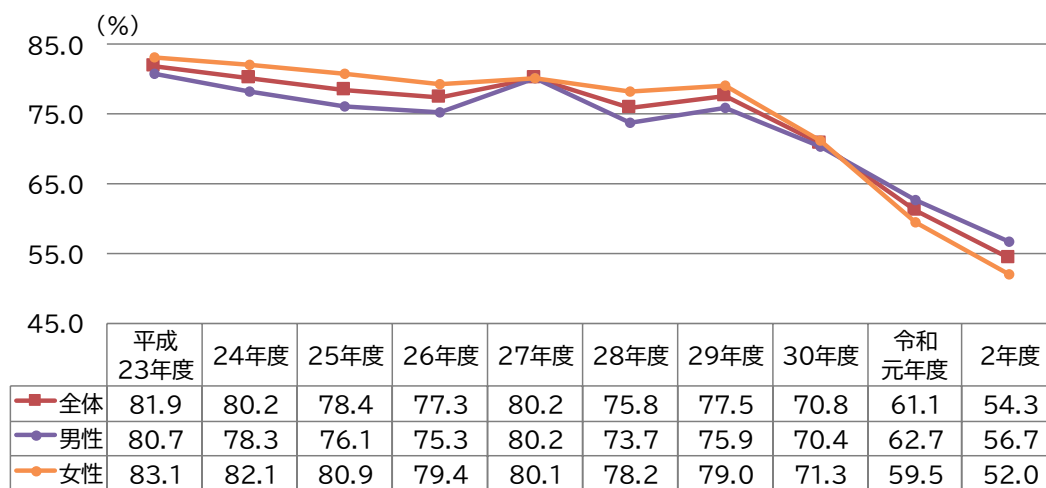
※ 今回の選択肢

## Data 6 宿泊観光旅行への参加希望率

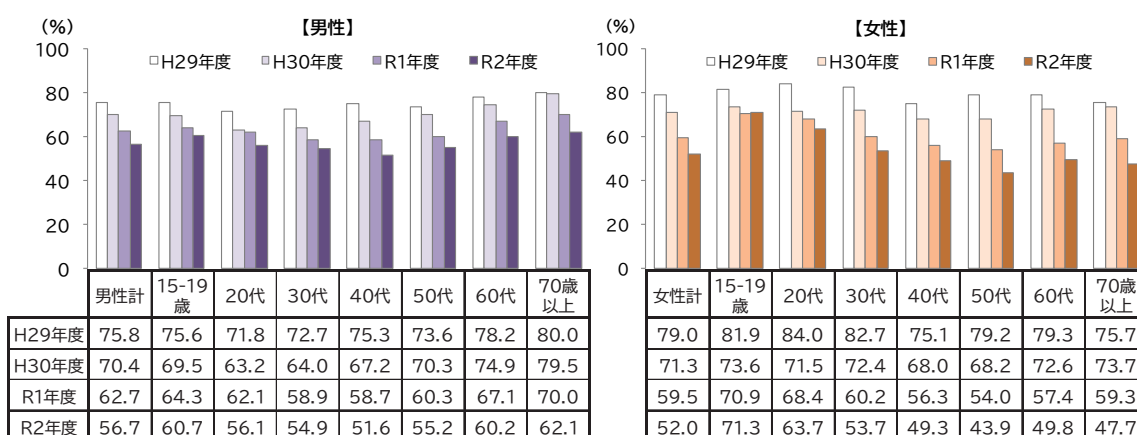
宿泊観光旅行への参加希望率は、昨年度に比べて6.8ポイント減少し、54.3%となっている。

性・年代別にみると、女性15-19歳を除いたすべての層で昨年度より減少しており、特に女性の50代と70歳以上では10ポイント以上の大幅な減少となっている。今後の宿泊観光旅行への参加希望という点でも、新型コロナウイルスの影響が現れていると推察される。

図表2-9: 宿泊観光旅行参加希望率の推移(全体/性別)



図表2-10: 宿泊観光旅行参加希望率の推移(性・年代別)



### 3. 都道府県別集計（参考）

本調査は、平成24年度（第31回）調査よりインターネットモニター10,000人を対象としており、全国の動向として、満足度及び再来訪意向について、訪問先の都道府県別の集計を行ってきた。しかし、都道府県別の集計とした場合、そのサンプル数が100を割るところもあったため、令和元年度（第38回）調査より調査対象を20,000人に拡大し、より詳細な都道府県別の集計を実施している。

なお、今回の調査対象20,000人から得られた総旅行回数は12,745となっており、ここでは、その総旅行回数をベースに集計している。

図表3-1: 宿泊観光旅行の訪問先

1	北海道	884	25	滋賀県	171
2	青森県	191	26	京都府	473
3	岩手県	199	27	大阪府	397
4	宮城県	275	28	兵庫県	462
5	秋田県	137	29	奈良県	112
6	山形県	190	30	和歌山県	265
7	福島県	287	31	鳥取県	135
8	茨城県	152	32	島根県	134
9	栃木県	418	33	岡山県	105
10	群馬県	364	34	広島県	210
11	埼玉県	150	35	山口県	141
12	千葉県	473	36	徳島県	73
13	東京都	641	37	香川県	112
14	神奈川県	618	38	愛媛県	105
15	新潟県	291	39	高知県	96
16	富山県	146	40	福岡県	256
17	石川県	275	41	佐賀県	89
18	福井県	126	42	長崎県	189
19	山梨県	256	43	熊本県	176
20	長野県	575	44	大分県	233
21	岐阜県	241	45	宮崎県	62
22	静岡県	654	46	鹿児島県	157
23	愛知県	288	47	沖縄県	335
24	三重県	343		TOTAL	12,745

※上記数値を「都道府県別の宿泊観光旅行の参加者」のサンプル数（n値）として、各種集計を行う。

※今回は新型コロナウイルスの影響により、総旅行回数が大幅に減少しており、サンプル数が100を割るところもあることに注意されたい。

## 【都道府県別集計1】年代構成

都道府県別に宿泊観光旅行参加者の年代構成をみると、30代以下の割合が高いのは埼玉県(52.7%)、東京都(52.1%)、香川県(47.3%)、広島県(47.1%)となっている。30代以下の占める割合の平均は37.4%であり、17都府県で平均を上回っている。

平均年齢をみると、東京都が41.2歳と最も若く、次いで埼玉県(42.0歳)、大阪府(42.4歳)、愛知県(42.7歳)となっている。

図表3-2: 都道府県別来訪者の年代構成(30代以下の割合が高い順)

n=	%							(%)	(歳)
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	30代以下	平均年齢	
TOTAL 12,745	6.0	16.3	15.1	15.4	13.7	20.1	13.3	37.4	47.4
埼玉県 150	7.3	23.3	22.0	17.3	6.7	13.3	10.0	52.7	42.0
東京都 641	8.6	25.6	17.9	14.7	11.9	12.9	8.4	52.1	41.2
香川県 112	11.6	18.8	17.0	12.5	11.6	19.6	8.9	47.3	43.2
広島県 210	7.1	23.3	16.7	15.2	14.8	11.4	11.4	47.1	43.4
大阪府 397	9.8	22.4	14.4	17.6	12.8	14.1	8.8	46.6	42.4
千葉県 473	5.9	18.0	22.2	15.6	14.6	12.7	11.0	46.1	44.2
茨城県 152	5.9	11.8	27.0	20.4	9.2	15.1	10.5	44.7	44.9
京都府 473	7.6	22.2	14.8	16.3	10.1	16.9	12.1	44.6	44.5
愛知県 288	9.7	19.1	15.6	19.8	14.2	14.2	7.3	44.4	42.7
宮崎県 62	17.7	9.7	16.1	16.1	8.1	17.7	14.5	43.5	45.5
福岡県 256	5.5	24.6	13.3	15.2	17.2	18.4	5.9	43.4	44.0
岡山県 105	9.5	17.1	14.3	17.1	12.4	18.1	11.4	41.0	45.7
沖縄県 335	5.7	17.9	17.3	15.5	16.7	17.3	9.6	40.9	45.6
兵庫県 462	6.7	17.1	16.2	15.6	12.1	23.2	9.1	40.0	46.1
徳島県 73	8.2	13.7	17.8	12.3	6.8	30.1	11.0	39.7	47.5
滋賀県 171	11.1	11.7	15.8	11.1	17.0	15.2	18.1	38.6	48.0
熊本県 176	5.7	17.0	15.3	16.5	14.2	19.9	11.4	38.1	46.6
岩手県 199	8.0	14.1	15.1	12.6	11.6	27.1	11.6	37.2	48.8
高知県 96	8.3	16.7	11.5	16.7	16.7	20.8	9.4	36.5	46.5
宮城県 275	18.5	13.5	16.7	14.2	19.3	13.5		36.4	47.3
石川県 275	5.5	16.4	14.5	13.1	10.5	22.5	17.5	36.4	49.2
静岡県 654	12.2	19.1	16.2	10.9	20.5	16.4		36.1	48.9
群馬県 364	5.2	18.7	11.5	10.2	13.2	20.1	21.2	35.4	50.0
山形県 190	6.8	17.9	10.5	13.2	16.3	26.3	8.9	35.3	47.8
神奈川県 618	15.9	16.7	19.7	12.3	20.1	12.6		35.3	47.8
愛媛県 105	16.2	14.3	13.3	8.6	29.5	13.3		35.2	49.1
山梨県 256	5.5	16.8	12.5	16.4	12.1	21.5	15.2	34.8	48.6
鳥取県 135	7.4	14.1	13.3	13.3	17.0	13.3	21.5	34.8	49.3
北海道 884	6.0	13.6	15.2	13.2	17.5	24.0	10.5	34.7	48.6
三重県 343	6.7	13.4	14.6	14.6	13.1	25.4	12.2	34.7	48.4
島根県 134	11.9	8.2	14.2	9.0	16.4	22.4	17.9	34.3	49.5
青森県 191	10.5	13.6	9.9	15.7	14.7	16.8	18.8	34.0	48.7
岐阜県 241	5.4	17.0	11.2	14.1	17.0	18.3	17.0	33.6	48.9
鹿児島県 157	5.1	13.4	14.6	15.3	12.7	24.2	14.6	33.1	49.4
富山県 146	12.3	17.8	16.4	13.7	21.2	15.8		32.9	49.4
和歌山県 265	14.3	14.7	19.2	10.9	23.0	14.0		32.8	48.9
福井県 126	13.5	16.7	15.1	17.5	19.0	15.9		32.5	50.4
栃木県 418	16.5	13.6	17.7	13.9	20.6	15.8		32.1	49.7
長崎県 189	13.8	13.8	15.9	13.8	21.7	17.5		31.2	50.4
佐賀県 89	19.1	9.0	9.0	18.0	27.0	15.7		30.3	50.6
山口県 141	9.9	15.6	14.2	9.2	27.0	20.6		29.1	52.9
大分県 233	15.5	9.9	18.9	19.7	22.3	10.7		28.3	49.3
長野県 575	10.6	13.0	14.6	16.3	23.3	17.9		27.8	51.7
秋田県 137	8.8	13.9	19.7	14.6	19.0	19.7		27.0	51.2
新潟県 291	5.2	8.6	12.7	16.5	14.8	28.5	13.7	26.5	51.2
奈良県 112	8.0	12.5	15.2	14.3	19.6	25.9		25.0	53.3
福島県 287	12.5	8.7	15.0	18.1	27.5	15.0		24.4	52.2

※5%未満は非表示、30代以下の割合の多い順に掲載

## 【都道府県別集計2】居住地構成

都道府県別の居住地構成をみると、大半の訪問地で同じエリア内に住んでいる人の割合が高く、特に群馬県(86.5%)、栃木県(84.7%)、茨城県(82.9%)の北関東3県において、関東居住者の占める割合が高い。

図表3-3: 都道府県別来訪者の居住地構成

	TOTAL	居住地 (%)								
		北海道	東北	関東	甲信越	中部	関西	中国	四国	九州
TOTAL	12,745	4.4	6.5	36.9	3.4	13.1	19.8	5.1	2.0	8.9
北海道	884	48.5	2.1	24.0	1.5	6.9	10.6	1.8	1.2	3.3
青森県	191	3.7	49.2	24.1	2.1	4.2	12.6	1.0	0.5	2.6
岩手県	199	3.5	64.8	20.1	2.5	4.0	3.5	0.5	0.0	1.0
宮城県	275	2.2	50.5	29.8	2.9	4.0	8.4	0.4	0.0	1.8
秋田県	137	1.5	58.4	27.7	2.2	3.6	5.1	0.7	0.0	0.7
山形県	190	0.0	46.8	34.2	8.4	4.2	5.3	0.5	0.0	0.5
福島県	287	0.3	37.3	48.1	6.3	4.2	2.1	1.0	0.0	0.7
茨城県	152	1.3	6.6	82.9	0.7	2.0	3.3	0.0	1.3	2.0
栃木県	418	0.2	4.5	84.7	2.4	4.3	2.4	1.0	0.0	0.5
群馬県	364	0.8	1.9	86.5	2.5	4.4	2.5	0.5	0.0	0.8
埼玉県	150	2.0	3.3	74.7	2.0	7.3	9.3	0.7	0.0	0.7
千葉県	473	2.3	2.3	77.6	1.5	5.5	7.8	0.6	0.4	1.9
東京都	641	4.5	7.6	42.3	3.7	11.4	16.5	4.5	0.3	9.0
神奈川県	618	0.8	1.5	78.5	2.8	8.1	5.0	0.6	0.6	2.1
新潟県	291	0.3	3.1	46.7	32.3	9.3	6.5	1.0	0.7	0.0
富山県	146	0.7	1.4	33.6	4.1	46.6	12.3	0.7	0.0	0.7
石川県	275	0.0	0.0	26.9	3.6	35.6	26.9	2.9	0.4	3.6
福井県	126	0.8	0.0	13.5	2.4	45.2	33.3	2.4	0.8	1.6
山梨県	256	0.8	1.2	70.7	4.7	16.0	5.1	0.0	0.0	1.6
長野県	575	0.3	1.4	48.3	13.9	19.8	13.0	1.0	1.7	0.3
岐阜県	241	0.8	0.0	10.4	2.1	61.8	21.2	2.5	0.0	1.2
静岡県	654	0.5	0.9	57.5	2.1	32.0	5.4	0.8	0.0	0.9
愛知県	288	1.7	1.4	22.2	2.4	46.5	21.5	0.7	0.3	3.1
三重県	343	0.0	0.6	12.0	2.3	29.4	53.1	2.0	0.0	0.6
滋賀県	171	0.0	0.0	6.4	1.8	18.1	71.9	0.6	0.0	1.2
京都府	473	0.2	0.4	30.0	3.0	16.3	38.9	4.2	1.5	5.5
大阪府	397	1.8	0.8	27.0	0.3	12.8	38.8	6.8	4.3	7.6
兵庫県	462	0.9	0.4	9.3	0.9	5.4	72.3	6.1	3.2	1.5
奈良県	112	1.8	0.0	25.0	1.8	7.1	53.6	2.7	1.8	6.3
和歌山県	265	0.0	0.0	9.8	0.8	9.1	76.6	1.5	0.8	1.5
鳥取県	135	0.7	0.0	6.7	0.7	3.0	37.0	47.4	3.7	0.7
島根県	134	0.0	0.0	14.9	1.5	5.2	28.4	40.3	3.0	6.7
岡山県	105	0.0	0.0	5.7	0.0	4.8	35.2	42.9	5.7	5.7
広島県	210	0.5	1.4	15.2	1.4	7.1	20.0	37.1	7.1	10.0
山口県	141	0.0	0.7	7.8	2.1	2.1	17.0	48.9	4.3	17.0
徳島県	73	2.7	0.0	9.6	0.0	1.4	42.5	11.0	27.4	5.5
香川県	112	0.0	2.7	10.7	1.8	7.1	36.6	12.5	25.0	3.6
愛媛県	105	2.9	1.0	20.0	0.0	2.9	21.9	12.4	34.3	4.8
高知県	96	0.0	0.0	9.4	3.1	6.3	29.2	15.6	33.3	3.1
福岡県	256	0.4	0.0	19.1	0.4	5.9	13.3	8.6	0.8	51.6
佐賀県	89	0.0	0.0	2.2	1.1	3.4	7.9	6.7	0.0	78.7
長崎県	189	1.6	0.5	13.8	1.1	3.7	10.6	5.8	0.5	62.4
熊本県	176	0.0	1.1	9.1	1.1	1.1	8.0	2.8	0.6	76.1
大分県	233	0.0	0.0	6.9	0.0	2.6	8.2	9.4	1.7	71.2
宮崎県	62	0.0	0.0	22.6	0.0	8.1	6.5	8.1	1.6	53.2
鹿児島県	157	1.3	1.3	16.6	1.3	5.1	12.7	5.1	1.9	54.8
沖縄県	335	3.0	1.5	46.6	1.5	11.6	19.4	2.4	0.9	13.1

※訪問地毎に、最も訪問率の高い居住地を■、最も訪問率の低い居住地を■

## 【都道府県別集計3】 来訪回数

来訪回数をみると、2回以上の来訪の割合が最も高い（リピーター率が高い）のは京都府で82.2%。次いで大阪府（81.9%）、大分県（80.7%）となっている。

5回以上来訪した割合をみると、京都府が50.3%で最も多く、千葉県（49.7%）、大阪（49.4%）と続く。

図表3-4: 都道府県別来訪回数(リピーター率が高い順)

n=	%					(%)		
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	初めての来訪	2回以上来訪
TOTAL 12,745	24.6	25.7	9.3	34.6	5.7		24.6	69.7
京都府 473	12.5	23.0	8.9	50.3	5.3		12.5	82.2
大阪府 397	8.8	23.2	9.3	49.4	9.3		8.8	81.9
大分県 233	17.6	36.5	13.7	30.5			17.6	80.7
栃木県 418	17.7	29.9	11.2	36.4			17.7	77.5
神奈川県 618	15.7	20.7	13.4	42.6	7.6		15.7	76.7
千葉県 473	21.4	20.1	5.5	49.7			21.4	75.3
東京都 641	16.2	20.0	7.2	47.4	9.2		16.2	74.6
佐賀県 89	20.2	31.5		38.2	5.6		20.2	74.2
山梨県 256	24.2	27.3	8.2	38.3			24.2	73.8
長野県 575	21.7	25.4	8.7	39.7			21.7	73.7
北海道 884	18.6	26.9	8.3	38.3	7.9		18.6	73.5
熊本県 176	22.2	31.3	11.4	29.5	5.7		22.2	72.2
愛知県 288	22.2	29.5	10.8	31.6	5.9		22.2	71.9
福岡県 256	24.6	19.5	7.8	44.1			24.6	71.5
沖縄県 335	24.8	29.6	13.4	28.4			24.8	71.3
三重県 343	24.2	28.0	11.1	31.8	5.0		24.2	70.8
静岡県 654	25.5	28.0	9.0	33.5			25.5	70.5
奈良県 112	28.6	24.1	17.0	29.5			28.6	70.5
岩手県 199	22.6	23.1	17.6	29.6	7.0		22.6	70.4
和歌山県 265	26.8	27.5	9.8	32.5			26.8	69.8
宮城県 275	25.1	20.4	9.1	40.0	5.5		25.1	69.5
兵庫県 462	26.4	25.3	9.7	34.2			26.4	69.3
福島県 287	26.8	21.6	9.8	37.6			26.8	69.0
茨城県 152	24.3	23.7	5.9	38.8	7.2		24.3	68.4
愛媛県 105	31.4		38.1	26.7			31.4	67.6
群馬県 364	28.6	28.8	10.2	28.0			28.6	67.0
香川県 112	31.3	32.1	15.2	18.8			31.3	66.1
鳥取県 135	29.6	29.6	7.4	28.9			29.6	65.9
広島県 210	25.7	25.7	11.9	27.6	9.0		25.7	65.2
福井県 126	32.5	27.0	9.5	28.6			32.5	65.1
岐阜県 241	33.2	23.2	10.4	30.7			33.2	64.3
長崎県 189	32.3	33.9	7.4	22.8			32.3	64.0
青森県 191	28.3	31.4	10.5	22.0	7.9		28.3	63.9
宮崎県 62	32.3	35.5	12.9	14.5			32.3	62.9
秋田県 137	29.9	19.7	7.3	35.8	7.3		29.9	62.8
滋賀県 171	30.4	29.8	7.6	24.0	8.2		30.4	61.4
石川県 275	36.4	32.7	12.4	15.6			36.4	60.7
埼玉県 150	36.0	26.0	8.0	26.0			36.0	60.0
新潟県 291	37.8	20.3	6.5	33.0			37.8	59.8
山形県 190	31.1	18.9	10.0	30.5	9.5		31.1	59.5
徳島県 73	39.7		37.0	17.8			39.7	58.9
高知県 96	38.5	27.1		27.1			38.5	58.3
鹿児島県 157	39.5	24.2	6.4	27.4			39.5	58.0
山口県 141	41.1	24.8		27.7			41.1	56.7
岡山県 105	37.1	24.8	7.6	21.0	9.5		37.1	53.3
富山県 146	41.1	29.5	6.8	14.4	8.2		41.1	50.7
島根県 134	46.3		26.1	6.0	16.4	5.2	46.3	48.5

※5%未満は非表示、2回以上の来訪が多い順に掲載



## 【都道府県別集計4】旅行行動

旅行行動をみると、「自然の風景をみる」の割合が最も高い訪問地が多く、特に沖縄県(77.0%)、鹿児島県(71.3%)、長野県(71.1%)、山梨県(70.3%)では7割以上となっている。「温泉浴」については、多くの温泉地を有している大分県(72.1%)、群馬県(69.2%)でその割合が高く、「名所・旧跡をみる」の割合は京都府(56.2%)、島根県(54.5%)が高い。一方、東京都では「都会見物」(27.3%)、千葉県と大阪府では「レジャーランド・テーマパーク」(それぞれ35.7%、23.9%)が上位2位以内となっており、他の訪問地とは異なる傾向をみせている。

図表3-5: 都道府県別宿泊観光旅行での行動

	n=	自然の風景をみる	温泉浴	名所・旧跡をみる	食特産品の買物・飲	神仏詣	資料館・美術館・博物館・郷土	動物・植物園・水族	ドライブ	季節の花見	レジャーランド・パーク	都会見物	賞・見物	ボート・音楽・鑑	ハイキング	祭りや行事をみる
TOTAL	12,745	54.5	44.1	31.4	19.4	14.2	11.5	11.5	10.2	8.8	7.8	6.7	4.4	4.3		
北海道	884	60.5	49.7	28.8	23.8	6.2	11.0	13.1	8.8	4.6	9.6	6.3	5.4	5.3		
青森県	191	60.7	48.2	37.7	17.3	11.5	11.5	11.0	12.6	3.1	8.9	8.4	4.7	8.4		
岩手県	199	51.8	64.3	22.6	18.1	8.5	8.0	9.5	9.5	3.5	8.0	5.5	4.5	11.1		
宮城県	275	53.1	50.5	34.5	18.9	18.2	8.7	11.6	9.5	5.8	9.8	10.5	2.9	4.0		
秋田県	137	57.7	53.3	27.7	15.3	9.5	14.6	10.9	11.7	0.7	7.3	8.0	8.0	5.8		
山形県	190	61.1	58.4	32.6	16.8	15.8	12.1	13.2	11.1	2.6	6.3	3.2	8.9	5.3		
福島県	287	54.4	63.8	28.6	18.5	11.1	12.2	15.0	12.2	7.7	4.5	2.1	7.0	3.1		
茨城県	152	55.9	42.8	25.0	21.7	16.4	11.2	16.4	21.1	7.2	6.6	7.9	8.6	3.9		
栃木県	418	59.8	55.0	34.7	15.6	18.4	9.1	17.9	11.0	13.6	2.9	4.3	6.2	4.1		
群馬県	364	64.0	69.2	28.6	13.5	7.7	4.9	11.3	12.9	5.2	2.2	5.2	6.0	4.1		
埼玉県	150	49.3	26.0	26.7	13.3	16.7	6.0	11.3	14.7	8.0	3.3	10.7	6.0	4.7		
千葉県	473	38.1	26.4	11.8	17.1	8.0	7.6	12.1	5.9	35.7	4.9	6.8	3.6	3.8		
東京都	641	24.5	11.5	16.2	13.9	10.6	12.5	4.1	7.5	9.2	27.3	19.2	3.3	5.3		
神奈川県	618	54.5	51.3	28.8	19.9	12.3	18.0	9.7	11.5	8.1	9.7	6.6	4.2	2.9		
新潟県	291	52.2	56.4	25.4	19.2	8.2	8.6	12.0	11.3	3.1	4.5	2.7	4.8	3.4		
富山県	146	67.1	52.7	38.4	21.2	15.1	12.3	8.2	13.7	4.8	7.5	5.5	9.6	5.5		
石川県	275	53.5	56.4	51.6	26.2	14.2	17.5	8.4	10.9	3.3	5.1	6.2	1.5	4.7		
福井県	126	69.8	57.1	39.7	18.3	13.5	17.5	9.5	10.3	5.6	4.0	2.4	3.2	4.0		
山梨県	256	70.3	48.0	25.4	20.7	12.1	7.4	14.8	10.9	10.5	4.3	2.7	10.9	3.5		
長野県	575	71.1	53.0	34.6	23.0	14.8	8.3	13.0	10.4	4.2	3.1	2.4	9.7	1.7		
岐阜県	241	61.4	51.5	36.9	19.5	12.0	10.8	13.3	11.2	3.7	4.1	4.1	5.0	5.0		
静岡県	654	57.8	63.1	29.1	20.9	12.4	12.5	14.7	9.8	8.7	3.4	2.3	3.1	3.7		
愛知県	288	37.5	30.6	29.9	19.1	13.9	10.8	7.3	9.0	8.0	13.5	17.0	2.8	3.5		
三重県	343	56.0	43.7	35.9	22.4	31.2	13.4	15.2	11.7	13.4	3.2	5.0	2.9	3.2		
滋賀県	171	59.6	30.4	37.4	21.1	15.2	10.5	13.5	8.2	5.8	3.5	4.7	3.5	3.5		
京都府	473	56.4	22.4	56.2	20.7	40.2	8.9	5.9	18.2	4.4	10.4	5.7	2.5	4.0		
大阪府	397	18.9	18.4	16.6	10.6	8.8	9.3	2.8	7.3	23.9	16.9	19.9	2.3	4.0		
兵庫県	462	44.6	45.7	25.8	22.9	12.3	9.7	11.9	8.7	9.3	6.3	6.5	1.5	3.7		
奈良県	112	58.9	33.0	43.8	17.9	33.9	9.8	7.1	13.4	2.7	3.6	2.7	6.3	1.8		
和歌山県	265	60.4	60.4	31.3	17.7	15.8	14.7	10.6	7.2	12.8	3.8	3.0	1.9	3.0		
鳥取県	135	57.8	55.6	36.3	22.2	15.6	9.6	11.1	6.7	6.7	3.7	3.0	1.5	4.4		
島根県	134	61.9	37.3	54.5	20.1	37.3	18.7	9.7	6.0	3.0	4.5	3.7	5.2	4.5		
岡山県	105	45.7	30.5	36.2	11.4	16.2	14.3	7.6	12.4	10.5	7.6	6.7	1.9	4.8		
広島県	210	54.3	20.0	45.2	18.6	16.2	18.1	6.2	7.1	4.8	10.5	6.2	2.4	5.7		
山口県	141	59.6	49.6	50.4	20.6	18.4	11.3	13.5	10.6	2.8	5.0	2.1	2.8	6.4		
徳島県	73	46.6	38.4	28.8	16.4	17.8	20.5	15.1	8.2	12.3	6.8	6.8	1.4	2.7		
香川県	112	66.1	41.1	39.3	23.2	21.4	14.3	11.6	14.3	8.0	5.4	4.5	5.4	9.8		
愛媛県	105	50.5	44.8	39.0	17.1	18.1	8.6	10.5	2.9	1.0	5.7	4.8	2.9	4.8		
高知県	96	67.7	22.9	39.6	32.3	15.6	27.1	18.8	15.6	3.1	10.4	6.3	2.1	10.4		
福岡県	256	43.8	25.0	28.5	27.7	12.5	13.3	10.9	7.4	6.6	19.1	14.5	1.2	3.9		
佐賀県	89	68.5	62.9	34.8	30.3	11.2	10.1	16.9	16.9	7.9	5.6	2.2	2.2	7.9		
長崎県	189	61.9	41.3	43.4	18.5	8.5	12.2	7.4	7.4	24.9	4.2	1.6	5.8	2.6		
熊本県	176	54.0	59.1	23.9	22.7	10.2	8.0	17.6	10.8	10.2	5.1	8.5	4.0	6.3		
大分県	233	61.4	72.1	29.2	18.0	9.0	11.6	16.3	12.9	10.3	4.3	3.0	5.6	4.3		
宮崎県	62	66.1	32.3	27.4	11.3	27.4	11.3	16.1	12.9	6.5	11.3	9.7	4.8	8.1		
鹿児島県	157	71.3	53.5	39.5	17.2	19.1	12.7	12.7	8.3	5.7	8.3	6.4	5.7	6.4		
沖縄県	335	77.0	14.6	34.0	20.9	6.3	16.7	17.9	5.4	10.1	6.9	4.2	1.8	3.3		

※:1位 ■:2位 □:3位 ▨:4位 ▩:5位

## 【都道府県別集計5】旅行費用

旅行費用をみると、旅行費用の総額では、沖縄県が97,183円で最も高く、次いで、鹿児島県(68,037円)、北海道(66,179円)となっている。

旅行先での「宿泊費」が高いのは、沖縄県(39,243円)、島根県(31,175円)、三重県(29,259円)である。「土産代」は沖縄県(11,069円)、高知県(7,372円)、島根県(6,740円)が高く、「観光行動費」は岩手県(24,323円)、沖縄県(20,129円)、東京都(18,546円)が高い。沖縄県はすべての費用において高くなっている。また、例年とは異なり、各費用で中国・四国地域の県が上位に登場している。

図表3-6:都道府県別宿泊観光旅行での費用

	総額 n=	旅行費用(平均額)					
		総額	団体旅行除く n=	団体旅行除く			
				宿泊費	交通費	土産代	観光行動費
TOTAL	12,745	46,317	11,547	21,897	11,070	5,531	10,192
北海道	884	<b>66,179</b>	742	25,261	17,310	6,709	12,547
青森県	191	46,641	156	19,540	15,373	5,740	10,905
岩手県	199	43,036	180	17,364	7,785	4,190	<b>24,323</b>
宮城県	275	44,296	247	23,068	11,606	5,657	9,134
秋田県	137	42,337	118	23,797	8,401	5,488	7,015
山形県	190	38,776	169	21,604	7,794	5,168	6,875
福島県	287	38,708	260	21,791	8,927	5,387	6,791
茨城県	152	29,924	128	15,215	7,784	6,438	6,820
栃木県	418	40,767	389	23,242	6,881	4,779	8,090
群馬県	364	33,976	330	19,368	6,375	4,704	6,157
埼玉県	150	31,410	131	15,015	5,864	3,568	6,072
千葉県	473	45,835	438	23,089	8,524	6,372	12,517
東京都	641	46,624	582	16,854	12,994	6,175	<b>18,546</b>
神奈川県	618	40,568	580	23,560	7,077	4,767	8,807
新潟県	291	38,090	266	19,477	9,835	4,887	7,510
富山県	146	43,827	118	18,713	11,169	5,408	7,693
石川県	275	52,523	253	24,701	12,594	5,987	9,974
福井県	126	38,175	118	21,011	8,580	4,609	8,414
山梨県	256	38,220	237	21,148	8,032	5,093	8,959
長野県	575	45,995	538	23,886	10,940	5,071	9,030
岐阜県	241	32,115	224	18,976	6,956	3,932	6,757
静岡県	654	42,711	626	24,387	7,831	4,965	8,224
愛知県	288	37,359	266	15,721	10,913	5,275	8,489
三重県	343	50,366	326	<b>29,259</b>	11,945	5,582	9,561
滋賀県	171	38,505	162	15,695	7,423	4,338	14,714
京都府	473	49,401	438	20,083	13,330	6,165	11,738
大阪府	397	45,291	359	14,835	13,380	5,908	11,655
兵庫県	462	45,021	429	23,741	9,142	5,230	9,314
奈良県	112	33,850	103	14,626	10,446	4,374	7,454
和歌山県	265	45,497	241	21,862	8,041	4,597	9,008
鳥取県	135	40,860	121	21,344	9,025	5,137	7,241
島根県	134	61,389	123	<b>31,175</b>	14,638	<b>6,740</b>	10,341
岡山県	105	37,284	96	18,433	9,422	3,745	6,364
広島県	210	44,723	188	17,130	13,601	6,641	8,729
山口県	141	46,147	130	25,646	10,751	5,599	7,509
徳島県	73	41,431	66	22,947	11,564	4,058	7,693
香川県	112	38,538	97	16,356	10,657	5,019	7,390
愛媛県	105	51,733	82	25,893	<b>19,844</b>	5,565	11,491
高知県	96	39,294	82	14,602	10,625	<b>7,372</b>	7,970
福岡県	256	44,552	232	16,254	13,031	5,277	10,949
佐賀県	89	34,053	81	18,499	6,766	3,107	5,196
長崎県	189	54,921	162	18,426	14,301	5,097	10,166
熊本県	176	41,568	167	19,939	11,488	4,808	10,547
大分県	233	44,944	220	26,592	8,975	5,126	7,314
宮崎県	62	48,145	52	24,200	15,956	5,020	9,516
鹿児島県	157	<b>68,037</b>	134	24,158	<b>18,972</b>	6,688	11,046
沖縄県	335	<b>97,183</b>	282	<b>39,243</b>	<b>30,162</b>	<b>11,069</b>	<b>20,129</b>

※上位3地域を赤字

## 【都道府県別集計6】満足度

満足度をみると、満足した割合（「大変満足した」、「満足した」、「まあ満足した」割合の合計値）が最も高いのは鳥取県で97.0%であった。次いで静岡県(96.9%)、宮崎県(96.8%)となっている。

「大変満足した」割合が高いのは、沖縄県(47.5%)、大分県(45.1%)、鳥取県(43.7%)の順となっている。

図表3-7: 都道府県別宿泊観光旅行の満足度(満足した割合が高い順)

n=	%					%		
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大変満足した割合	満足した割合
TOTAL	12,745	36.6	36.7	19.4	5.7		36.6	92.7
鳥取県	135	43.7	25.9	27.4			43.7	97.0
静岡県	654	38.1	37.8	21.1			38.1	96.9
宮崎県	62	35.5	37.1	24.2			35.5	96.8
富山県	146	35.6	37.0	24.0			35.6	96.6
大分県	233	45.1	33.5	18.0			45.1	96.6
鹿児島県	157	36.9	39.5	19.7			36.9	96.2
千葉県	473	42.7	34.0	18.8			42.7	95.6
奈良県	112	35.7	38.4	21.4			35.7	95.5
香川県	112	40.2	40.2	15.2			40.2	95.5
愛媛県	105	28.6	35.2	31.4			28.6	95.2
長野県	575	40.0	39.5	15.5			40.0	95.0
北海道	884	38.1	37.1	19.7			38.1	94.9
石川県	275	36.7	41.8	16.4			36.7	94.9
広島県	210	36.7	35.2	22.9			36.7	94.8
栃木県	418	26.8	47.4	20.6			26.8	94.7
大阪府	397	36.0	38.8	19.9			36.0	94.7
京都府	473	43.3	37.6	13.5			43.3	94.5
徳島県	73	35.6	32.9	26.0	5.5		35.6	94.5
福井県	126	22.2	42.9	29.4			22.2	94.4
秋田県	137	30.7	42.3	21.2	5.1		30.7	94.2
三重県	343	39.1	38.8	16.3	5.0		39.1	94.2
兵庫県	462	40.3	34.2	19.5	5.0		40.3	93.9
山梨県	256	28.1	42.2	23.4			28.1	93.8
高知県	96	39.6	37.5	16.7			39.6	93.8
長崎県	189	39.7	29.6	23.8	5.8		39.7	93.1
和歌山県	265	39.2	38.1	15.1	5.3		39.2	92.5
愛知県	288	39.2	33.0	20.1	5.2		39.2	92.4
滋賀県	171	40.9	29.8	21.6	5.8		40.9	92.4
岡山県	105	21.0	43.8	27.6	7.6		21.0	92.4
山口県	141	40.4	38.3	13.5	5.7		40.4	92.2
沖縄県	335	47.5	28.1	16.7			47.5	92.2
茨城県	152	33.6	30.9	27.6	5.9		33.6	92.1
岐阜県	241	33.2	35.3	23.7	5.8		33.2	92.1
熊本県	176	38.6	41.5	11.4	6.3		38.6	91.5
福島県	287	33.8	36.2	21.3	6.3		33.8	91.3
島根県	134	35.8	36.6	18.7	6.7		35.8	91.0
福岡県	256	32.8	36.7	21.5	8.2		32.8	91.0
佐賀県	89	28.1	37.1	25.8	7.9		28.1	91.0
岩手県	199	32.2	39.7	18.6	7.5		32.2	90.5
宮城県	275	34.2	36.4	20.0	7.3		34.2	90.5
青森県	191	37.2	35.6	17.3	7.3		37.2	90.1
群馬県	364	32.4	36.8	20.9	8.5		32.4	90.1
新潟県	291	35.4	38.1	16.5	6.9		35.4	90.0
神奈川県	618	35.3	38.7	15.5	9.1		35.3	89.5
東京都	641	37.1	34.5	17.6	9.8		37.1	89.2
埼玉県	150	30.7	32.0	22.7	13.3		30.7	85.3
山形県	190	32.1	26.8	22.6	14.7		32.1	81.6

※5%未満は非表示、満足した割合が高い順に掲載

## 【都道府県別集計7】再来訪意向

再来訪意向をみると、再来訪意向ありの割合（「大変そう思う」、「そう思う」、「ややそう思う」の割合の合計値）が最も高いのは大分県で95.7%、次いで大阪府（94.0%）、富山県（93.8%）となっている。

「大変そう思う」割合は、沖縄県が54.6%と最も高く、次いで京都府（48.8%）、北海道（45.4%）の順となっている。

図表3-8: 都道府県別再来訪意向（再来訪意向ありの割合が高い順）

n=	再来訪意向					割合 (%)		
	0%	20%	40%	60%	80%	100%	大変そう 思う 割合	再来訪意 向ありの 割合
TOTAL	12,745	38.1	35.0	16.5	7.9		38.1	89.6
大分県	233	44.6	38.6	12.4			44.6	95.7
大阪府	397	37.3	40.1	16.6			37.3	94.0
富山県	146	32.2	45.9	15.8			32.2	93.8
福井県	126	31.0	45.2	17.5			31.0	93.7
京都府	473	48.8	33.2	11.6			48.8	93.7
静岡県	654	40.5	34.3	18.3	5.4		40.5	93.1
沖縄県	335	54.6	24.5	14.0			54.6	93.1
長野県	575	44.3	34.4	13.9	5.2		44.3	92.7
愛媛県	105	28.6	57.1	6.7	5.7		28.6	92.4
山梨県	256	35.5	37.1	19.5	5.5		35.5	92.2
石川県	275	33.8	37.8	20.4	6.2		33.8	92.0
奈良県	112	36.6	37.5	17.9	5.4		36.6	92.0
香川県	112	34.8	33.9	23.2	8.0		34.8	92.0
三重県	343	40.5	36.7	14.6	6.1		40.5	91.8
和歌山県	265	37.4	36.6	17.7	5.3		37.4	91.7
鹿児島県	157	36.9	33.1	21.7	6.4		36.9	91.7
北海道	884	45.4	30.1	15.8	7.1		45.4	91.3
千葉県	473	43.8	34.7	12.9	5.7		43.8	91.3
栃木県	418	25.6	45.9	19.6	7.7		25.6	91.1
岩手県	199	30.7	38.7	21.1	7.0		30.7	90.5
兵庫県	462	41.1	32.9	16.5	7.6		41.1	90.5
広島県	210	38.6	27.1	24.3	8.1		38.6	90.0
佐賀県	89	28.1	31.5	30.3	7.9		28.1	89.9
宮城県	275	33.1	38.5	18.2	8.4		33.1	89.8
神奈川県	618	39.3	36.2	14.1	8.6		39.3	89.6
福島県	287	39.0	35.2	15.0	9.1		39.0	89.2
鳥取県	135	37.8	28.9	22.2	5.2	5.9	37.8	88.9
岡山県	105	19.0	32.4	37.1	9.5		19.0	88.6
高知県	96	37.5	36.5	14.6	7.3		37.5	88.5
岐阜県	241	31.1	37.8	19.1	7.5		31.1	88.0
茨城県	152	32.9	38.8	15.8	7.2		32.9	87.5
山口県	141	32.6	31.9	22.7	7.8		32.6	87.2
福岡県	256	45.3	28.1	13.7	10.2		45.3	87.1
宮崎県	62	32.3	38.7	16.1	11.3		32.3	87.1
愛知県	288	40.3	32.3	14.2	8.3		40.3	86.8
徳島県	73	31.5	26.0	28.8	11.0		31.5	86.3
長崎県	189	33.9	37.6	14.8	10.1		33.9	86.2
東京都	641	38.4	33.2	14.5	12.2		38.4	86.1
島根県	134	30.6	34.3	20.9	11.2		30.6	85.8
新潟県	291	35.7	37.8	12.0	8.9		35.7	85.6
滋賀県	171	39.8	32.2	13.5	9.9		39.8	85.4
青森県	191	31.9	42.9	9.9	11.0		31.9	84.8
埼玉県	150	36.7	27.3	20.7	12.0		36.7	84.7
群馬県	364	29.9	36.5	18.1	13.2		29.9	84.6
熊本県	176	39.8	36.4	8.0	11.9		39.8	84.1
山形県	190	31.1	29.5	20.5	13.7		31.1	81.1
秋田県	137	24.1	38.7	17.5	13.1		24.1	80.3

※5%未満は非表示、再来訪意向ありの割合が高い順に掲載

## 4. 調査結果概要

表 1. 過去 1 年間の実態 — 宿泊観光旅行

項目	宿泊観光旅行の実態	
1) 参加率	29.2%	
2) 参加回数		
全体平均	0.68回	
参加者平均	2.33回	
3) 実施月	10月が 14.0%でピーク	
4) 目的地	県内	22.4%
	県外	76.9%
5) 出発した日	平日	40.0%
	土・日・祝	37.1%
6) 行動 (複数回答)	①自然の風景をみる	54.5%
	②温泉浴	44.1%
	③名所・旧跡をみる	31.4%
7) 主な行動	①温泉浴	26.1%
	②自然の風景をみる	17.0%
	③名所・旧跡をみる	11.5%
8) 同行者	①家族	57.3%
	②友人・知人	18.9%
	③自分ひとり	17.1%
9) 同行人数	①2～3人	62.0%
	②1人	18.0%
	③4～5人	14.6%
10) 利用交通機関 (複数回答)	①自家用車	54.9%
	②JR鉄道	30.7%
	③私鉄	13.7%
	④路線バス	10.9%
	⑤飛行機	10.7%
11) 宿泊施設	①ホテル	62.2%
	②旅館	26.4%
12) 宿泊数	平均 1.50泊	
13) 旅行費用		
総費用	46,320円	
宿泊費	21,900円 注) 旅行会社の募集団体	
交通費	11,070円 及び「職場、学校」	
土産の費用	5,530円 「地域宗教」の団体	
観光行動費	10,190円 を除く	

表 2. 過去 1 年間の宿泊旅行の実態

旅行の種類	参加率	参加回数 (全体平均)	参加回数 (参加者平均)
全体	37.0%	1.21回	3.27回
観光旅行	29.2%	0.68回	2.33回
出張などの商用	4.9%	0.20回	4.06回
帰省などの私用	8.4%	0.23回	2.80回
兼観光旅行	4.2%	0.10回	2.32回

表 3. 今後 1 年間の宿泊観光旅行の希望

1) 参加希望率	54.3%	
2) 参加希望回数	2.35回	
3) 希望季節	秋 32.0%、	夏 26.9%
4) 希望宿泊数	2.12泊	
5) 希望費用	総費用	44,710円
	1泊あたり宿泊費	11,190円
6) 希望する旅行の種類	①温泉を楽しむ	44.1%
	②食を楽しむ	25.1%
	③季節の花々を楽しむ	21.5%
	④寺社仏閣を楽しむ	20.8%
	⑤リゾートライフを楽しむ	20.7%